

[リアル体験版]

避難所運営訓練実施報告書

2021年度 Shinjo プロジェクト市民防災・減災活動公募助成事業

被災地での支援活動経験に基づいて作成したロールプレイ型の避難所運営訓練を兵庫県三木広域防災センターで実施しました。

一般財団法人ダイバーシティ研究所

(裏表紙)

[リアル体験版] 避難所運営訓練の実施にあたって

近年、地震や風水害などの大規模自然災害が多発しています。住居被害が大きい被災地では、長期にわたり多くの被災者が避難所での避難生活を送らざるを得ない状況になりますが、避難所での生活に必要な配慮が不足してしまうと、避難生活で体調不良を起こすなど災害関連死を引き起こしてしまうことにも繋がりかねません。避難生活における被害の拡大を防ぐためには、状況に応じた柔軟な避難所運営を行い、在宅避難者などの避難所外の被災した全ての人を支援する「被災者支援拠点」として避難所が機能することが必要です。

被災者支援拠点避難所運営訓練プログラムは、2013年に日本財団が提案し、新宿区・三重県で実施され、以降は、高知市、掛川市、下諏訪町、別府市、宿毛市等、2018年まで各地で実施されました。（実施：ダイバーシティ研究所）

この訓練では、実際に避難所となる施設を使い、ライフライン途絶や集落の孤立など、厳しい被害想定の下で1泊2日で実施するものです。スタッフ人數、準備時間やコストも係ってしまうため、同様の訓練を継続して実施するためには、訓練効果を低下させずに低コストでコンパクトに実施できるプログラムに修正する必要がありました。

今回の[リアル体験版]避難所運営訓練は、過去に実施してきた避難所運営訓練を参考に、最近の自然災害の様子を組み入れたシナリオ、リアルタイムドキュメンテーションを用いた振り返りなど、新しい訓練プログラムです。

これまでとは違う対象者、新しいプログラムで臨んだ避難所運営訓練は、修正点も見つかりましたが、市町村や支援機関、住民、防災リーダーが共通の認識を持ち、それぞれの役割を果たしながら進める今後の災害への備えに役立つと考えています。

この報告書では、今回の訓練の概要や準備物等を掲載したものです。
ご覧いただいた方々や地域での取り組みのご参考としていただければ幸いで
す。

(白紙・左ページ)

目次

1. 実施概要.....	1
2. 準備の記録.....	2
3. 訓練プログラム.....	5
4. 訓練の様子.....	7
5. 参考資料.....	9
○当日用実施要項.....	9
○オープニング・オリエンテーションスライド	12
○訓練進行シナリオ	17
○役割カードの構成	20
○役割カード一覧	20
○動画用スライド（前半）	41
○動画用スライド（後半）	48
○つぶやきシート（記録）	54

1. 実施概要

事業名

『令和3年度 ひょうご防災リーダー フォローアップ研修 リアル避難所運営訓練』

※ひょうご防災リーダー講座の修了生を対象としてフォローアップ研修として実施

日 時：令和3年10月17日(日) 11:00～16:30

場 所：兵庫県広域防災センター（三木市志染町御坂1-19）

参加費：無料

対象者：ひょうご防災リーダー

定 員：50名（参加者：50名）

共 催：兵庫県、（一財）ダイバーシティ研究所

協 力：神戸芸術工科大学 芸術工学部 プロダクト・インテリアデザイン学科

曾和具之准教授、ゼミ生

[ダイバーシティ研究所 訓練運営メンバー]

山本千恵 （一財）ダイバーシティ研究所 副代表理事・行政書士

坂井公淳 感環自然村 村長

渡嘉敷唯之 （株）CO.ACT 代表取締役

村上典子 （特）多文化共生マネージャー全国協議会 事務局

大橋亜由美 （特）多文化共生マネージャー全国協議会

前川典子 （一財）ダイバーシティ研究所 理事

2. 準備の記録

① 準備カレンダー

※DECO=ダイバーシティ研究所

日程	打ち合わせ内容	メンバー
7月26日(月)	実施方式の打ち合わせ	県消防課、DECO
8月6日(金)	実施概要打ち合わせ	DECO運営メンバー
8月23日(月)	訓練概要打ち合わせ	DECO運営メンバー
8月31日(火)	募集・訓練内容打ち合わせ	県消防課、DECO
9月8日(水)	広域防災センター現地確認 訓練内容の打ち合わせ	県消防課、DECO
9月22日(水)	研修進行・動画内容の打ち合わせ	県消防課、DECO、曾和准教授
10月4日(月)	訓練打ち合わせ	DECO運営メンバー
10月15日(金)	訓練打ち合わせ	DECO運営メンバー
10月16日(土)	備品搬入	DECO
10月17日(日)	訓練当日	
11月18日(木)	振り返り打ち合わせ	DECO運営メンバー
11月22日(月)	振り返り打ち合わせ	DECO運営メンバー

② 訓練備品

避難所運営訓練備品一覧

品目	個数	備考
アルファ化米（一食用）	7	
乾パン	7	
米粉乾パン	5	賞味期限切れシール
レトルトカレー	5	賞味期限切れシール
おかゆ・おかず	5	賞味期限切れシール
アルファ化米（一箱）	1	
アルファ化米（一食用）	30	
ペーパータオル	2	
ティッシュペーパー	2	
トイレットペーパー	4	
大人用身体拭き	1	
大人オムツ	1	
子どもオムツ	1	
粉ミルク	1	
お尻拭き	1	

生理用品	1	
ペットフード	1	
カイロ	1	
バンドエイド・救急箱	1	
歯磨きシート	3	
サランラップ	2	
ロープ	適宜	
ランタン	3	
タオル	5	
マスク	適宜	購入
トランシーバー	2	
ゴミ袋	適宜	
ブルーシート	適宜	
ランドセル	1	
教材	2	
手提げ鞄	1	
マザーズバック	1	
犬	2	
赤ちゃん	2	
毛布	30	レンタル
コピー用紙（A3・A4）	適宜	
養生テープ	適宜	
養生テープ	適宜	
文房具セット	1	
避難所開設キット	1	マニュアル、様式集
乾電池（単一・単三・単四）	適宜	
水 500ml	50	購入
水 2L	10	購入

ロジ準備物

品目	数量	備考
ビブス	60	参加者用
役割カード	50	
模造紙	14	
プロッキー	5 箱	
付箋	たくさん	
オリエンテーション資料	70	
次第	70	
被災想定資料	70	
避難所運営マニュアル	2	役割用
スタッフ進行表	10	
役割カード一覧	10	
訓練シナリオ	10	
追加シナリオ	各 1	
使用禁止表示	適宜	A4 印刷
赤ちゃん、犬音源	各 1	使っていないスマホで再生
スタッフビブスカラー	緑	

広域防災センターでお借りするもの

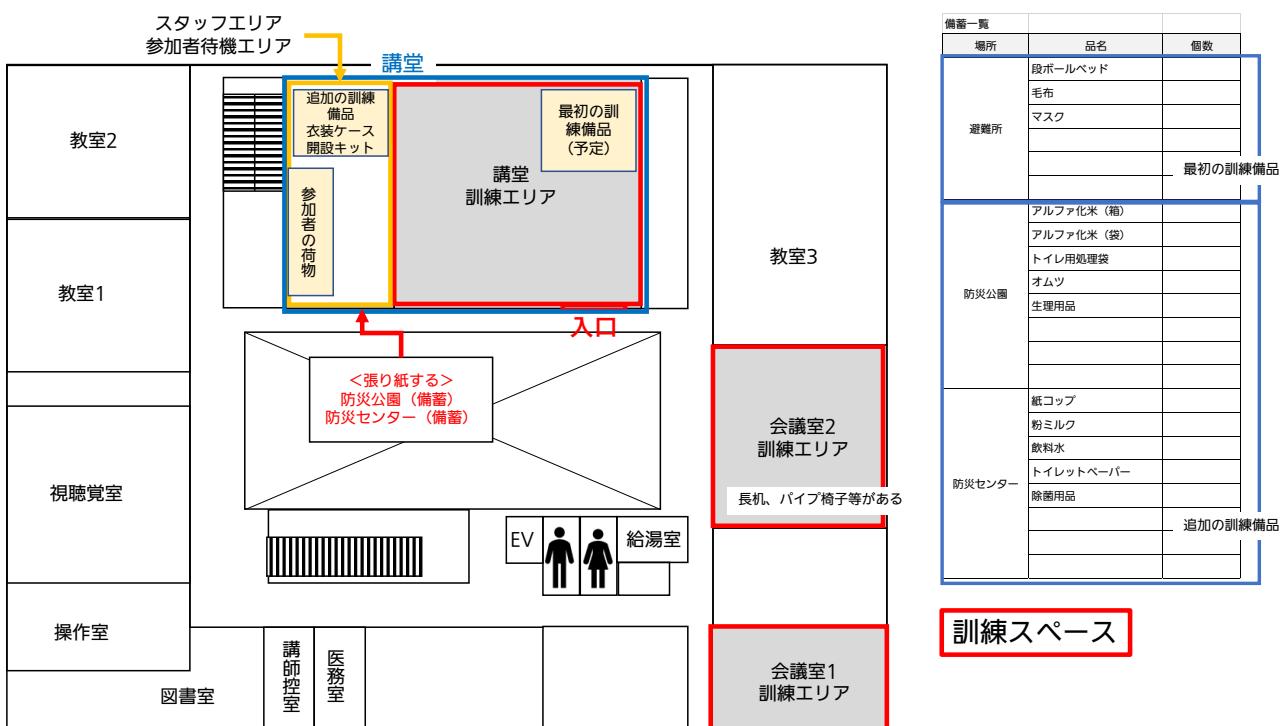
品目	数量	備考
プロジェクト	備付	
スクリーン	備付	
段ボールベッド	5	
間仕切り	10	
長机・パイプ椅子	適宜	
車いす	1	
ホワイトボード	適宜	

③ 利用施設

訓練オリエンテーション：日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター
会議室

訓練会場：広域防災センター2階

午後の訓練設営



広域防災センター2階平面図

3. 訓練プログラム

○実施方式

参加者一人一人に実在した被災者をモデルにした「役割カード」を配付して演じてもらう事で訓練を進行させるロールプレイ型訓練

○タイムスケジュール

時間	進行
11：00～11：15	開会あいさつ 兵庫県広域防災センター 田中健一さん スタッフ紹介
11：15～11：30	ミニ講座「被災者支援と福祉」ZOOM 株式会社 CoACT 代表取締役 渡嘉敷唯之
11：30～12：00	訓練オリエンテーションと役づくり 感環自然村 村長 坂井公淳
12：00～12：45	休憩
12：45～13：00	役づくり（仕上げ）
13：00～15：30	移動・ロールプレイ訓練開始（2時間30分）
15：30～16：25	振り返り
16：25～16：30	閉会

○「つぶやきシート」

「つぶやきシート」には、訓練中に気付いたことや、その時の想いなどをタイムラインで書き留める（リアルタイムドキュメンテーション）

つぶやきシート		訓練中に気付いた事や、その時の気持ちなどをタイムラインでつぶやいて下さい。 ※お帰りの際、アンケートと一緒に提出をお願いいたします	
カード No.	1	属性	校長先生
何時何分頃	気付いたこと、今の気持ち		
(例) 15時45分	熱があるので別の部屋に移動したけど、もう30分以上誰もこない。さみしい…		

○役割カード

指定されたアクション以外は、役になりきった参加者の意思で行動。この被災者がどんな心境にあるのかを書き留めてから、訓練に参加する

No.1

校長先生

ピース No.	年齢	性別	属性	自宅被害
白 1	50~60 代 自分で設定	-	校長先生	不明

平時のあなた

今年から笹原小学校の校長に着任しました。

現在の状況

5時間目までだったため、ほとんどの生徒が帰宅の途に就いており、放課後児童クラブの生徒が数名学校に残っています。
職員室にいた職員に校内を確認（火災・破損・生徒）するように指示を出しました。発災時は校長室にいましたが、床にたくさんの物が散乱しており、足をくじいてしまったようです。

訓練中のアクション

- 避難所開設の必要があると考え、避難所開設キットを取ってから、避難所となる体育館に向かってください。
- 学校長として、生徒、住民の安全確保のために行動してください。

あなたの今の気持ち

使用する備品

避難所開設キット

訓練に入るタイミング

5分遅れて入場

グループ

A

このカードの
参加者氏名

さん

※ 訓練で使用した資料は、参考資料に掲載

4. 訓練の様子

○ミニ講座・訓練オリエンテーション

ロールプレイ訓練中のポイントとなる要配慮者への配慮やコミュニケーションの重要性についてレクチャーを行いました。

オリエンテーションでは、ロールプレイ訓練では、ひとり一人違う役割カードに書かれている人物になりきって行動してもらうことや、訓練中の感情を書き留める「つぶやきシート」の使い方を説明し、各々役割の確認を行いました。

今回の訓練では、時間が限られていたため、座学やオリエンテーションを簡略化していますが、時間に余裕がある場合は、自分がどの様に振る舞うかをしっかり考える「役作り」の時間を十分に設けることが望ましいです。



ミニ講座：支援と福祉との関係



訓練の会場で役作りと最終説明

○ロールプレイ訓練



避難者が次々に入ってくる



受付に人が集まるが混乱している



段ボールの衝立て視認性が低下した



避難所にない備蓄は訓練エリアの外



訓練の最中に学生がリアルタイムドキュメンテーションの作業にあたる

○振り返り

参加者で6~7人のグループを作り、KJ法を用いた振り返りを行いました。避難所運営について役の視点から振り返り、グループの中でディスカッションをして訓練を振り返ります。



各自訓練を振り返る



数人のグループで意見交換

5. 参考資料

訓練に用いた資料を掲載します。

- **当日用実施要項**
注意事項、プログラム進行、役割カード、会場、備品について説明しています。
- **オープニング・オリエンテーションスライド**
実施要項に沿って参加者に説明するためのスライドです。
- **訓練進行シナリオ**
訓練の中でどの様な出来事を発生させ、避難所運営の体験をしていくかを、事前に想定してシナリオを作成します。
シナリオ中の出来事と、役割カードに書かれているアクションが一致しています。参加者が役になりきって演じ、参加者が習得している知識を実践することができれば、想定したシナリオに近いロールプレイが行われますが、想定通りに進まない場合は、訓練スタッフが参加者にアクションの追加を伝え、軌道修正を試みるようにします。
- **役割カードの構成**
役割カードの構成は、モデル地区の様子に合わせて設定しています。障害者や有病者の人数は、統計や地区の人口を使って予測します。
- **役割カード一覧**
役割カードでは、その被災者の普段の様子や現状、必ずとってほしいアクション（シナリオと一致）などを記載しています。

○当日用実施要項

◆令和3年度ひょうご防災リーダー フォローアップ研修◆

リアル避難所運営訓練 実施要項

令和3年10月17日(日) 11:00~16:30

注意事項

- 発熱や体調不良のある方は、訓練へのご参加を見合わせて下さい。
- 研修や訓練中は、特に指示がある場合を除き、マスクの着用を徹底して下さい。
- その他、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

役割カードについて

- 役割カードは、周囲の人見せないようにしてください。

●タイムスケジュール

時間	進行
11:00~11:15	開会あいさつ 兵庫県広域防災センター 田中健一さん スタッフ紹介
11:15~11:30	ミニ講座「被災者支援と福祉」ZOOM 株式会社 CoACT 代表取締役 渡嘉敷唯之
11:30~12:00	訓練オリエンテーションと役づくり 感環自然村 村長 坂井公淳
12:00~12:45	休憩
12:45~13:00	役づくり（仕上げ）
13:00~15:30	移動・ロールプレイ訓練開始（2時間30分）
15:30~16:25	振り返り
16:25~16:30	閉会

※ 今日の訓練では、研修用資材とするための動画を撮影しています。

●モデル地区と被災想定について

- モデル地区は伊丹市です。避難所は、笠原小学校体育館（指定避難所）です。
- 被災想定

令和3年11月17日(水)15時51分、南海トラフ巨大地震が発生（M9.0）。
伊丹市では震度6強の激しい揺れにより、家屋等建築物の倒壊、道路陥没、液状化、
火災発生等の被害が発生している模様。

- ライフライン（電気・ガス・水道）は止まっています。

◆令和3年度ひょうご防災リーダー フォローアップ研修◆

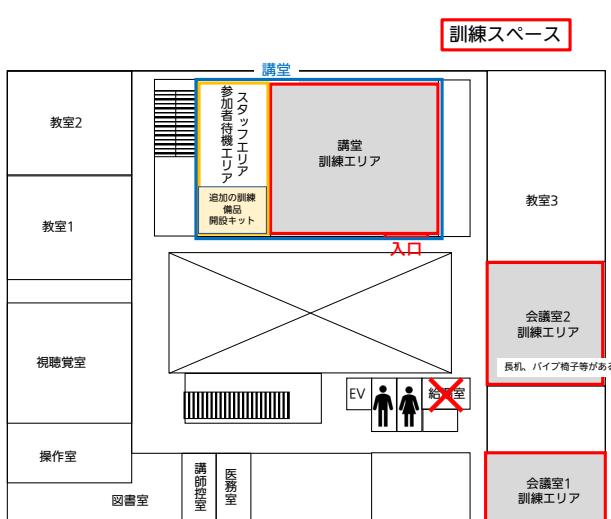
●役割カードについて

- 訓練では、参加者ひとり一人にお渡しした役割カードの人物になりきってください。
- 指定されたアクション以外は、役割カードの人物の判断で行動してください。
- どの様な行動をすれば良いか判らない時は、近くのスタッフに声を掛けて下さい。
- 訓練の開始前に、安全ピンでビブスに付けて下さい。

●要配慮者の方へ

- 要配慮者役の方は、訓練終了後の振り返りでフィードバックができるよう、訓練中に役割カードの人物の視点から避難所運営を見るようにしてください。

●訓練エリアについて



- 赤枠部分とそれをつなぐ通路が訓練エリアです
- 避難所開設キット、防災センターや防災公園の備蓄は、待機エリアにあります
- 給湯室はエリア外です
- 会議室2、会議室1の室内にある備品は使用OK
- 訓練中の設定は、水道、ガス、電気が止まっています
- トイレは、訓練の設定上、水を流すことができません
- 講堂の訓練エリア内で、発電機の代わりに、コンセントを一部使用します
- 時間差で訓練に入っていく方は、待機エリアで待機して下さい

●「つぶやきシート」について

- 「つぶやきシート」には、訓練中に気付いたことや、その時の想いなどをタイムラインで書き留めて（つぶやいて）ください。
- 訓練中の対応で余裕がない場合は、無理をして書く必要はありません。

●訓練備品について

- 訓練備品のうち、賞味期限の切れていないものは、実食OKです。但し、お持ち帰りはご遠慮ください

○オープニング・オリエンテーションスライド

令和3年度 ひょうご防災リーダー講座フォローアップ研修

リアル避難所運営訓練

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

1

訓練の進め方 ～訓練の特徴～

ロールプレイ訓練では、参加者の皆さんに
実在した被災者や支援者を演じていただきます。

- 役割カードは、実際に避難所で起こった出来事や被災者が直面した問題を元に作成しています。
- 訓練中に、避難所で起こりうる 様々な出来事が発生します。
- 参加者の皆さんには、役割カードの人物になりきって、その人物の判断に基づいて行動して下さい。

全力で演じていただくことで、**様々な立場を体験し、
多様な視点で避難所運営を見直す**ことができます。

◆ひょうご防災リーダーフォローアップ研修◆

2

訓練の進め方～モデル地区と被災想定～

- モデル地区：伊丹市
- 避難所： 笹原小学校の体育館
- 南に尼崎市と隣接
- 尼崎市の南部は、津波浸水

被害想定

令和3年11月17日(水)15時51分、
南海トラフ巨大地震が発生(M9.0)

震度6強の激しい揺れ
家屋等建築物の倒壊、道路陥没、
液状化、火災発生等の被害



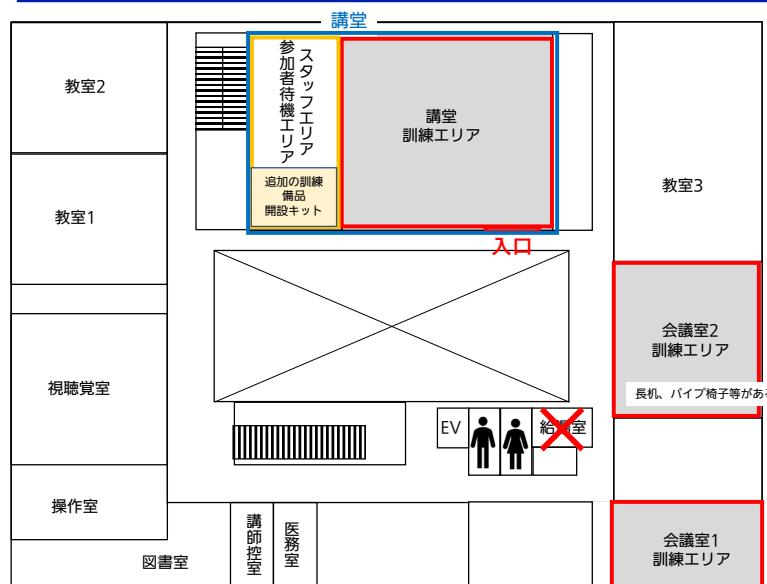
ライフライン停止

◆ひょうご防災リーダーフォローアップ研修◆

3

会場設定

訓練スペース



- 赤枠部分とそれをつなぐ通路が訓練エリアです
- 避難所開設キット、防災センターや防災公園の備蓄は、待機エリアにあります
- 給湯室はエリア外です
- 会議室2、会議室1の室内にある備品は使用OK
- 訓練中の設定は、水道、ガス、電気が止まっています
- トイレは、訓練の設定上、水を流すことができません
- 講堂の訓練エリア内で、発電機の代わりに、コンセントを一部使用します
- 時間差で訓練に入っていく方は、待機エリアで待機してください
- 訓練備品のうち、賞味期限の切れていないものは、実食OKです。但し、お持ち帰りはご遠慮ください

◆ひょうご防災リーダーフォローアップ研修◆

4

訓練の進め方～役割カードの使い方～

ピース No.	年齢	性別	属性	自宅被害
白 1	50～60 代 自分で設定	一	校長先生	不明

合っているか確認

現在の状況	●現在の状況 この人の状況設定		
平時のあなた 今年から笛原小学校の校長に着任しました。	5 時間目までだったため、ほとんどの生徒が帰宅の途に就いており、放課後児童残っています。 職員室にいた職員に校内を確認（火災・破損・生徒）するように指示を出しましたが、床にたくさんの物が散乱しており、足をくじいてしまったようです。 訓練中のアクション		
●あなたの今の気持ち 平時の様子や現在の状況から、想像力を膨らませ、この人の心境を書き留めます。	●訓練中のアクション 訓練中に必ずして欲しい行動 追加の指示が出ることもある		
使用する備品 避難所開設キット	●あなたの今の気持ち 平時の様子や現在の状況から、想像力を膨らませ、この人の心境を書き留めます。		
訓練に入るタイミング 5 分遅れて入場	振り返りの時のグループ		
グループ	A	このカードの 参加者氏名	さん

◆ひょうご防災リーダーフォローアップ研修◆

5

訓練の進め方～「つぶやきシート」の使い方～

つぶやきシート

訓練中に気付いた事や、その時の気持ちなどをタイムラインでつぶやいて下さい。
※お帰りの際、アンケートと一緒に提出をお願いいたします

カード No.	1	属性	校長先生
何時何分頃	気付いたこと、今の気持ち		
(例) 15 時 45 分	熱があるので別の部屋に移動したけど、もう 30 分以上誰もいない。さみしい…		
15 時頃	トイレに行きたいけど、本部は忙しそうで言いにくいいなあ…		

◆ひょうご防災リーダーフォローアップ研修◆

6

訓練の視点と振り返り

- ロールプレイ訓練では、参加者全員で地域の避難所を演じります。
- そのため、役割によって訓練中の活動量に差があります。
- 要配慮の方は動きが少なくなりがちですが、その役どころから避難所運営をしっかり観察してください。

様々な役割から避難所を見るポイント

- どう感じていたか
- 何に困ったか
- どんな対応をして欲しかったか
- より良い避難所のために地域や、自分にできることは何か

「つぶやき」シートも
使ってね！

訓練開始までの時間の使い方

- 役割カードを読み込みましょう。
- 「あなたの今の気持ち」を書き留めてみましょう。
- 気になる事、わからない事は、近くのスタッフに声をかけてください。

(休憩)

休憩中も、役割カードは周囲に見せないようにします。
訓練会場は、学習・訓練等の講堂です。

- 再び、役割カードを読み込みましょう。
- あなたは役者です。しっかり感情移入いきましょう。

心境の準備が出来たら、ロールプレイ訓練の開始です

<休憩からお戻りいただくときの注意事項>

- ✓ 講堂は、設営に入れます。荷物は一旦持って出て下さい。
- ✓ 訓練で使用しない持ち物は、待機スペースに置いていただくことになります。
- ✓ スムーズに訓練がスタートできるよう、整理しておいて下さい。
- ✓ 役割カードに備品の指示がある方は、お戻りの際、備品を受け取って下さい。

<訓練開始直前>

- ✓ 一旦、講堂から外に出ていただきます。
- ✓ 訓練で使わない手荷物を、待機スペースに置いて下さい。
- ✓ 最初から訓練に入る方は通路、時間差で入る方は待機スペースに移動して下さい。
- ✓ 「訓練スタート」の声かけと同時に、ロールプレイを開始して下さい。
- ✓ 「訓練終了です」の声かけでロールプレイを終了します。

○訓練進行シナリオ

訓練備品・環境設定準備

備品・環境	内容・状態	場所
スタートーキット	様式書類つづり・筆記用具・養生テープ・ラジオ・行政防災無線、備蓄一覧表	訓練エリア外通路
避難所備蓄品	仕切り段ボール（5）、段ボールベッド（1）、毛布（20）、マスク（2箱）	訓練エリア外通路
防災公園の備蓄品（取りに行く or 届かないと避難所にはないもの）	アルファ化米（1箱）、アルファ化米（20袋）、ソフトパン（10袋）、カセットコンロ（1）、トイレ・トイレテント（1）、オムツ、生理用品	避難除外エリア
防災センター（届けられないと避難所にはないもの）	紙コップ、粉ミルク、哺乳瓶、飲料水、トイレットペーパー、消毒液	避難所外エリア（要請があつてから投入）

目安時間	避難所で生じやすい課題	対応のポイント・気づき	想定される運営管理者・本部の動き	必須アクション（カード）	追加アクション
0	避難者が既に来ている		●行政の開設担当者が不在	●学校により体育館が開放される	
	身体的に元気な人が多い			●学校に残っていた生徒も体育館に移動する	
				●避難者は、各々場所を確保している。	
				●濃厚接触者の登場	
				●体育館の備品を使っている避難者もいる	
10	避難所運営者の不足	●協力者の募集	●学校関係者が机やイス、備蓄品を運んでくる	●運ばれてくる備品や物資に列をなす（仕切り、マット、段ボールベッド、毛布）	
			●避難所運営マニュアル、避難所スタートキットの箱を開ける。	●制止を聞かずして持ち出す人、理由を付けて備品等をもらうと粘る人	
				●次々と新たな避難者が入ってくる	
15	感染症対策が間に合わない	●要配慮や傷病、感染症対応スペースの早期確保	●本部に次々とくる避難者への対応に追われる	●「発熱している」と申告する避難者	
	体調不良者がいる	●スペースの整理	●協力者の募集	●捻挫をした避難者	
	適切と言えない人			●切り傷、擦り傷など負傷者	

	ベースの配置				
				●安否確認や情報を求める避難者	
				●高齢の避難者が到着し始める	
				●人が増えるのを見て、物資を何度も取りに来て取り込む人	
30	物資の不足	●情報の掲示	●行政の避難所運営担当者（マニュアルに精通）の到着	●行政職員の到着	●無線による現場と災対本部の連絡開始
			●マニュアルのチェック等がどこまで出来ているか確認する	●飲み物、食べ物が欲しい人	
			●避難者名簿、避難者カードを作り始めようとする	●情報を求める人（外国人）	
				●赤ちゃん泣く、授乳	
				●ペット連れに気付く人が本部に訴える	
45			●避難者カードの配付・回収	●在宅避難者が物資を求めて来る	●安否確認の名簿を張り出す提案
60		●アルファ化米調理始め	●避難所運営委員会の設置	●避難者カードを書いていない人 ●日本語の避難者カードが理解できない外国人	
				●記載内容がわからない人	
1h15			●避難所運営委員会の役割分担	●トイレを我慢している高齢者（足が痛い、手助けが必要） ●車いす利用者のトイレ	●尼崎市からの避難者が来る（事務局カード）
1h30	在宅避難者への支援の不足			●在宅避難者が食事を求めて来る	●自分達の食料がなくなるのは困ると意見する
1h45	日没の対応不十分	●日没までの対応		●懐中電灯・ランタンを借りに来る人（返しに来ない・取り込み）	
2h	高カロリー、高い塩分の食事による体調不良	●食事の配付、明日の食事等の物資確保（要請）	●災対本部から情報収集員が来る（アセス）	●在宅避難者が食事を求めて来る（事務局カード）	
				●腎疾患患者が食事を取ることに躊躇する	
				●聴覚に障害のある人（耳が遠い）が食事をもらい損ねる	

				●ハラルフードがないかを尋ねる外国人	
2h15	女性の被害、見知らぬ人同士が過ごすトラブル	●管理体制の整備（役割分担）	●避難者名簿のチケット	●段ボールベッドを要望する人（数が足りない）	●男性と女性のスペースを分ける提案する人
			●物資管理のチェック	●毛布や寝具がない人	
			●災対本部への避難状況の連絡		
			●支援物資の要請	●外国の領事館から自国民の安否確認の電話が市災対本部に入る。災対本部から行政無線で確認がはいる。	
2h30		●在宅避難者の状況把握		●在宅避難者が物資、毛布、食糧、水を求めに来る（事務局カード）	

00～30 混乱期

30～60 状況整理期

60～120 ケア期

120～150 一日の集約期

○役割カードの構成

カードの種類	枚数	割合
運営管理者	9 枚	18%
運営協力者	5 枚	10%
要配慮者	22 枚	44%
非協力者	3 枚	6%
その他	11 枚	22%
合計	50 枚	

訓練に入るタイミング	枚数	割合
最初から入場	13 枚	26%
5 分遅れて入場	12 枚	24%
10 分遅れて入場	13 枚	26%
15 分遅れて入場	10 枚	20%
25 分遅れて入場	2 枚	4%
合計	50 枚	100%

○役割カード一覧

カテゴリー	年齢	性別	属性	自宅被害	平時	備品	状態	訓練に入るタイミング	アクション
運営管理者	50～60代 自分で設定		学校長	不明	今年から 笹原小学校の校長に着任しました。	避難所開設キット	5時間目までだったため、ほとんどの生徒が帰宅の途に就いており、放課後児童クラブの生徒が数名学校に残っています。 職員室にいた職員に校内を確認（火災・破損・生徒）するように指示を出しました。発災時は校長室にいましたが、床にたくさんの物が散乱しており、足をくじいてしまったようです。	5分遅れて入場	●避難所開設の必要があると考え、避難所開設キットを取つてから、避難所となる体育館に向かってください。 ●学校長として、生徒、住民の安全確保のために行動してください。
運営管理者	40～50代 自分で設定		教頭	不明	笹原小学校の教頭（3年目）です。		生徒の下校の見送りの後、校内の見回りをしている時に、大きな揺れが発生しました。 急いで職員室に戻り、校長の指示を受けて体育館の破損状況を確認しにきました。 既に体育館の外からの入口扉前に、避難してきた住民の姿があります。	最初から入場	●体育館の壁にあるスピーカーの一部が外れかかっています。体育倉庫の中も散乱しており、天井の照明の一部は付かないところがあります。 ●その他の被害は直ぐに確認できませんが、避難してきた住人から、中に入れて欲しいという声が聞こえています。 ●教頭として、生

								徒、住民の安全確保のために行動してください。
運営管理者	30～40代自分で設定	教員	不明	笛原小学校の4年生の担任です。		既に生徒は下校しており、発災時は職員室にいました。校内に残っている生徒がいないか、校内に火気がないかを、校長の指示を受けて確認しています。校内には、数名の生徒が残っていました。火気は発生していないことを確認しました。	10分遅れて入場	●残っていた生徒を連れて、体育館に移動してください。 ●学校長又は教頭に指示を仰ぎ、生徒、住民の安全確保のために行動してください。
その他	8歳 小学校2年生	小学2年生	不明	笛原小学校の2年生です。放課後児童クラブを利用、両親は共働きです。	ランドセル	終わりの会のあと、放課後児童クラブに行き、宿題をしている時に、大きな地震があり、とても驚きました。児童クラブの先生のかけ声で、体を丸め、頭を守って揺れを凌ぎました。しばらくすると、先生が来て体育館に一緒にいくことになりました。大きな揺れと大きな音に驚き、不安で仕方ありません。先生が大丈夫と言ってくれていますが、泣きたいのを我慢しています。	10分遅れて入場	●放課後児童クラブに迎えに来た先生と一緒に、体育館に移動してください。 ●親がいつ迎えに来るのか聞いて下さい。曖昧な返事だったり、子どもとして納得できなかった場合は「お父さん、お母さんに会いたい」と泣いて下さい。 ●親と離れている8歳の子どもの気持ちになって、振る舞って下さい。 ●お手伝いを頼まれた場合、手伝う気分になれば、手伝って下さい。
その他	9歳 小学校3年生	小学3年生	不明	笛原小学校の3年生です。放課後児童クラブを利用、両親は共働きです。	手提げバッグ	終わりの会のあと、放課後児童クラブに行き、宿題をしている時に、大きな地震があり、とても驚きました。児童クラブの先生のかけ声で、体を丸め、頭を守って揺れを凌ぎました。しばらくすると、先生が来て体育館に一緒にいくことになりました。一つ年下の2年生の子がいるので、怖いのを我慢していますが、本当は怖くて仕方ありません。	10分遅れて入場	●放課後児童クラブに迎えに来た先生と一緒に、体育館に移動してください。 ●親がいつ迎えに来るのか聞いて下さい。曖昧な返事だったり、子どもとして納得できなかった場合は「お父さん、お母さんに会いたい」と泣いて下さい。 ●親と離れている9歳の子どもの気持ちになって、振る舞って下さい。 ●お手伝いを頼まれた場合で、手伝う気分になれば、手伝って下さい。
運営管理者	20～30代自分で設定	教員	不明	笛原小学校の3年生の担任です。		既に生徒は下校しており、発災時は職員室にいました。校舎の被害状況を確認するよう、校長の指示を受けて確認しています。正門の門扉の一部、校舎間のコンクリート、プール施設の外壁の一部、運動場手洗い場が破損しています。ま	15分遅れて入場	●校舎の破損状況を、学校長または教頭に報告してください。 ●学校長又は教頭に指示を仰ぎ、生徒、住民の安全確保のために行動してください。

						た、下足場は散乱しております。教室の通路側の窓ガラスの多くが割れています。		
運営管理者	60～70代自分で設定	－	無職自治会長	大規模半壊、全壊相当	仕事を2年前に退職しています。小学校の直ぐ近くに住んでおり、地区的自治会長をしています。【21番が妻】	自宅のガレージで作業をしている時に地震が起きました。地震で家に大きな被害があり、室内も激しく散乱し自宅での生活は難しそうです。ガレージで体をぶつけ、腕に強い打撲をしています。ただ耐えられない痛みではなく骨折ではなくさそうです。 地区住民のことがとても心配で、何とかしなければ、と使命感にかられ、避難所である小学校に向かいました。どちらかと言えば「亭主関白」です。妻には、自宅で大事なものを探すように伝え、自宅に残してきました。	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●他にも避難してきた人がいます。避難所に来た人は、これから何ヶ月も避難生活を送ることになるかもしれません。 ●災害発生直後、避難所開設初日の不安な夜をすごすためにできることを実行してください。 ●学校の先生が行政職員らしきを探し「何をすれば良いか」「自分は自治会長だから避難所をやる」と伝えて下さい。 ●女性や障害者など多様な視点の必要性はわかっていないません。力のある男性で避難所をやっていくことを推奨してください。 ●市会議員を見かけたら、色々頼ってください。
運営管理者	50～60代自分で設定	女性	自治会役員（婦人部）	不明	自治会婦人部のリーダーです。日頃は、婦人部の活動に熱心です。婦人部では、自治会内の花壇のお世話をしたり、公園掃除の回覧板を回したり、地域の夏まつりで焼きそばを焼いたりしています。	買い物中に被災しました。自宅に向かう途中、小学校の方に行く人達に出会い、家には戻らずに避難所へやってきました。避難所では、女性の視点が少なくなると聞いたことがあります、自分で出来る事は進んで行おうと考えています。 自宅の状況が気になります。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●他にも避難してきた人がいます。避難所に来た人は、これから何ヶ月も避難生活を送ることになるかもしれません。 ●災害発生直後、避難所開設初日の不安な夜をすごすためにできることを実行してください。 ●自治会長や学校の先生に協力してください。 ●避難者全員が必要な食事を摂ることを考えて動いて下さい。 ●避難所運営に女性の視点が欠けてしまわないように気を配って下さい。 ●可能であれば、自宅の様子を見に行くため、15分間ロールプレイから抜けて下さい。
運営管理者	40～50代自分で設定		自治会役員	大規模半壊、全壊相当	会社員で自治会の班長です。コロナ対応で在宅ワークが増え	今日も自宅で仕事をしていました。大きな揺れで、自宅の壁などが破損し、室内は散乱しています。 会社には電話が繋がりません。 自宅では次の揺れが心	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●他にも避難してきた人がいます。避難所に来た人は、これから何ヶ月も避難生活を送ることになるかもしれません。 ●災害発生直後、避難所開設初日の不安

				ています。		配なため、小学校の避難所に来ました。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります		な夜をすごすためにできることを実行してください。 ●自治会長や学校の先生に協力してください。
その他	40～50代自分で設定	会社員	不明	保険の営業をしています。		仕事で外回り中、お客様のお宅を訪ねている時に地震が起きました。訪問先のお宅にはご高齢のお母さん（11番）があり、娘さん（12番）一人で避難させるのは大変そうです。 会社に電話しても繋がらいません。お客様とそのお母さんの避難を手助けすることにしました。家族にも連絡が取れませんが、連絡が取れない間、あせってもしょうがないので、今できることをやろうと思います。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	15分遅れて入場	●この避難所のルールは何も知りません。だれが運営管理者かもわかりません。 ●足の痛い高齢者の居場所を確保するため、できるだけ大きな声で「好きなどろにスペースを確保していいですか？」と尋ね、11番、12番の場所と、自分が過ごすための居場所を確保してください。 ●会社や家族と連絡が取れず、心配でたまりません。心配を解消するための行動をしてください。 ●食事の準備がされたころに、自分はここに泊まる事になるんだと自覚します。そのため、外に連絡をとる手段が復旧していないか、確認してください。
要配慮者	80代自分で設定	高齢者要介護3	半壊～一部損壊程度	日常生活の多くに介助が必要です。足が弱っていて、ゆっくり少ししか歩けません。認知能力も低下気味です。 【12の親】		昼食後、横になっているときに大きな揺れを感じました。何とか逃げなければいけないと思いましたが、体が思うように動きません。しばらくすると、子ども（12番）が「避難しよう」と声をかけにきました。 「避難所に行けば必要なものはあるだろう」と子どもが言うので、保険証や財布、通帳を入れた袋だけを持ってきました。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい	15分遅れて入場	●避難所に到着してから、薬を持っていないとつぶやいてください。 ●体育馆の床の上に直接座ると足が痛いことを、子どもに伝えて下さい。 ●食べ物や水などが、手元にないため、とても不安です。 ●長い時間を避難所で過ごさなければなりません。水が欲しい、トイレに行きたい、静かなところに行きたい等、全面的に介助が必要な高齢者になりきって行動して下さい。 ●息苦しいので、マスクをしばしば外して下さい。 ●「家に帰りたい」と何度もくり返し訴えて下さい（認知症）
その他	50代自分で設定	地域住民	半壊～一部損	休職して親の介護をしています。		保険の説明を聞いているときに地震が起きました。阪神・淡路大震災や大阪北部地震が	15分遅れて入場	●11番と自分の場所を確保して下さい。 ●備蓄品を持ち出すことができなかつた

			壊程度	【11の子】		<p>あったので、転倒防止などをしていたので、落ち着いて揺れがおさまってから、親（11番）の様子を見に行きました。</p> <p>保険の方（10番）が、避難の手伝いを申し出てくれたので、一緒に避難所に向かうことにしました。</p> <p>持ち出し袋は準備していましたが、親を支えながら運ぶのが難しく、避難所の物資をもらおうと思っています。</p> <p>★段ボールベッドや間仕切りがほしい</p>		<p>ので、避難所にある物資を少しでも多くもらえるように行動して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●要介護の高齢者もいるから、優先的に物資を分けてもらえるように行動して下さい。 ●もし、自分達に配分される物資が減ると思うことがあつたら、徹底的に反対して下さい。 ●周りの方の説明等に納得できることがあれば、行動を変えて下さい。 	
運営協力者	50代自分で設定	地域住民	一部損壊程度	地域で趣味のサークル活動を催すなど、世話好きです。 【20番の親】		<p>少し離れた貸し会議室で、サークル活動をしている時に、地震が発生しました。荷物を取りに自宅に戻ってから少し遅れて避難所に駆けつけると、避難所は混乱しています。自分の居場所を確保しますが、避難所がどうなっていくのかよくわかつておらず、状況を理解しようと考えています。</p> <p>★途中でスマホの充電が切れそうになります</p>	15分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●訓練開始から15分後に避難所に入り、避難所の中をよく観察して下さい。 ●疲れている様子の人、困っている様子の人を見つけて必要があれば、声をかけて様子を聞いて下さい。 ●この避難所に到着した人は、これから何ヶ月も避難生活を送ることになるかもしれません。災害発生直後、避難所開設初日の不安な夜をすごすためにできることを考え、実行してください。 ●若者を見かけたら、運営に協力するよう声をかけて下さい。 ●60分経過したところから、強い疲労を感じます。体調がおかしいことを誰かに伝えてください。 	
運営協力者	20～30代自分で設定	女性	地域住民	一部損壊程度	育児のため休職中の看護師です。	赤ちゃん、マザーズバッグ	<p>1歳の乳児がいます。夫は海外出張中で、今は近くにいません。地震発生時、自宅にいましたが、住んでいるアパートが古く、倒壊が不安でいることができないので、この避難所にやってきました。ミルクとオムツは、一晩過ごす分を持ち出しましたが、長引くようだと足りないことは明かです。</p> <p>一方で、仕事柄、ケガや体調の良くない人、高齢者などの様子が気になっています。</p>	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●時々泣く赤ちゃんをあやしてください。 ※赤ちゃんの泣き声の出し方は、スタッフにお声かけください。 ●体調の悪そうな人が放置されていたり、支援が必要な人がいることを確認したら、運営本部（避難所リーダーらしき人達）に状況を確認してください。 ●医療・介護の知識があるので、高齢者や障害者で手助けが

						<p>★途中でスマホの充電が切れそうになります ★段ボールベッドや間仕切りがほしい</p>		必要な人の支援を行います。（ただし、自分も赤ちゃん連れです） ●60分経過後に、避難所にいる人たちに、水分を取るように声をかけてください。 ●少し落ち着いたら、避難所にどういった要配慮者がいるのかを把握できるよう努めてください。
非協力者	50～60代 自分で設定	地域住民	半壊程度	普段から、地域の活動には参加しておらず、近所づきあいがありません。		<p>近所づきあいも少なく、避難所内に知人が見当たりません。避難所では、行政の職員が世話をしてくれる、支援はしてもらえるものだと思っています。物資の不足や暑さ、寒さなど、避難所に不満が募っています。少しでも快適に過ごすために、避難所のリーダーや行政職員に繰り返し必要だと思うことを言わなければ…と思っています。</p> <p>★途中でスマホの充電が切れそうになります ★段ボールベッドや間仕切りがほしい</p>	最初から入場	<p>●避難所のリーダーらしき人、行政職員らしき人を見つければ、空腹や寒さを始め、自分が欲しいと思う物を要望してください。</p> <p>●避難所で要配慮者から手助けを求められても、非協力的に振る舞って下さい。</p> <p>●ペットがいたり、赤ちゃんが泣いたりすると不満を漏らしてください。</p> <p>●「配慮が必要な人は、別の場所に移った方が良い」という考えを主張し、排除的な行動を取ってください。</p> <p>●自分への支援物資が少なくなりそうな事態が発生した場合、配分が減らないように行動して下さい。（地域の物資は自分達だけのもの）</p> <p>●在宅避難者や市外の避難者に、支援物資を渡すことに対する反対をして下さい。</p>
非協力者	30～40代 自分で設定	地域住民	半壊程度	災害への備えをしていませんでした。仕事をしているため、ご近所付き合いは挨拶程度です。		<p>自宅にいるときに、地震が発生しました。平時に『持ち出し袋』を用意していなかったため、生活用品や食料は、ほとんど避難所に持て来れませんでした。生活用品や食料が不足することに大きな不安を感じ、食べ物と必要な物を備蓄品から勝手に持ち出しています。</p> <p>★途中でスマホの充電が切れそうになります ★段ボールベッドや間仕切りがほしい</p>	最初から入場	<p>●避難所開所と同時に使えそうな備品類を探し出し、自分の確保した場所に集めてください。</p> <p>●食糧や水、マスクなど、食べ物や日用品を早く手に入れるため行動して下さい。</p> <p>●備品などを持ち出していることを誰かに咎められたら、自分の持ち物がほとんど無いため、避難所で過ごすために、自分にとっては必要なもの、必要な量であると訴えてください。</p> <p>●集めたものを回収</p>

								<p>された場合は、隙をみて取り返して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅避難者や市外の避難者に、支援物資を渡すことに反対して下さい。 ●マスクをしていない高齢者を見かけたら、「何故マスクを外しているのか?」と強い口調で注意して下さい。
その他	60~70代 自分で設定	地域住民	半壊程度	気は優しく、無類のお酒好きです。毎晩、晚酌して寝床に入るのが習慣になっています。		不安で眠れなくなるのが心配で、避難所にもお酒を持ってきました。避難した初日はお酒を我慢していますが、寝付けない夜を過ごすことになります。災害用の持ち出し袋を準備していなかったため、貴重品しか持ち出しません。	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の居場所を確保して、避難所の様子をうかがってください。 ●お酒の瓶は、自分のスペースに見えるように置いてください。 ●知らない人のコミュニケーションは得意ではありませんが、何か頼まれ事をされた時は、手伝ってください。 ●お酒のことで何か言われることがあれば、飲酒が認められるように振る舞って下さい。
その他	50~60代 自分で設定	地域住民	一部損壊程度	一人暮らしをしています。仕事をしているため、近所の方との付き合いは少なめです。		朝起きてから、食事を取っていないかったため、とてもお腹が空いています。避難所にいけば、何とかなると考えていたため、災害時の備えが十分に出来ておらず、貴重品を持ち出しただけです。空腹のあまり、イライラしています。備蓄食料が避難者に十分行き渡る数がないこと、パンやおにぎりがすぐに届かないことがわかると、ショックを受けます。今食べられるもの、今日の食事の時間内容等が気になっています。気になる食事のことを管理者に尋ねて下さい。	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のスペースを確保したら、朝から何も食べていないことを訴え、食料を求めて下さい。 ●避難所開所から1時間経っても夕飯の準備が進まない場合は、お腹が空いていることを改めて管理者に伝えてください。 ●夕飯の準備が始まつた様子を確認したら、「食事は何か、いつ食べられるか?」聞きに行ってください。 ●期待外れの食事だと思ったら、イライラをぶつけてください。 ●自分は我慢しているのに、マスクを外したりずらしたりしている人や、お酒などの嗜好品を持っている人を見つけたら、厳しく注意してください。 ●何かを手伝うか否かは周りの人の対応で、手伝う気になつたら手伝ってください。

その他	40～50代 自分で設定	自営業 地域住民	大規模半壊、全壊相当	自宅兼事務所で配管工事を請け負う仕事をしています。		自宅兼会社で被災しました。自宅は古く倒壊が不安で、余震が続く中では当分戻れそうにありません。両親と妻がいますが、市外にかけており自宅にはおらず、災害が起きたときは家族とは避難所で落ち合うことにしていたため、1人で避難所へ来ました。自宅からは何も持ち出せていません。会えていない家族のことが気になっています。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●自分とこれから来るかも知れない家族のために、避難所内に家族全員分のスペースを確保し、毛布や食料などの備品をいち早く家族の分も確保しようと行動して下さい。 ●市外の被害状況や移動できるかどうかなど、家族が避難所にたどり着けるかどうか、確信が持てるよう行動してください。 ●60分経過したら本部に行き、家族の安否情報を求めて下さい。 ●家族が避難所に来れないと思ったら、家族のことが心配でたまらなくなります。通信手段を確認し、安否情報を何度も求めて下さい。 ●運営本部から納得できる誘導があれば、協力してください。
運営協力者	22歳	学生 (13番の子)	半壊～一部損壊程度	隣県の大学に通う大学4回生です。授業のない日は、自宅で論文を書いています。 【13番の子】		少し迷いましたが、室内も散乱し自宅の壁も一部落ちていたので、避難所に来ました。避難所にくるとサークルに出かけていた母親もいます。 まさか本当に大地震が起こるとは思っておらず、何も持ってきてません。防災のチラシは見たことはありますが、このような時にどうすれば良いのか、よくわからっていません。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	10分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●親(13番)を見つければ、声をかけて下さい。 ●時々、マスクをずらしてください。
運営協力者	60～70代 自分で設定	専業主婦 (7番の妻)	大規模半壊、全壊相当	夫が自治会長をしています。夫はとても忙しく、家のことを任せています。 【7番の妻】		夫に大事な物を探すように言われましたが、棚が倒壊するなど室内の散乱が激しく、一人の力では貴重品を出し切れませんでした。とにかく避難所に向かい、夫に報告することにしました。 最近は、気候の変わり目のせいか、めまいやふらつきがあったのに加え、激しい頭痛を感じ始めています。 ※7番が夫です。	10分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所に到着したら夫を探し、状況を報告して下さい。 ●頭痛も激しくなり、もしかすると風邪かもしれないと思っています。 ●頭痛を訴えて30分経過までに、薬を受け取ることが出来ていたら、すぐに症状はおさまりますが、薬を受け取ることが出来なければ、吐き気をもよおし、体調が悪化します。 ●体調が回復したら、夫に手伝いを

								申し出て下さい。体調が悪化していたら、夫に体調不良を何度も伝えてください。
要配慮者	70～80代自分で設定	高齢者	大規模半壊、全壊相当	週2回ディサービスに通っています。時間はかかりますが、何とか自分で身の回りのことは出来ます。夜間は怠のため、大人用の紙おむつを利用していきます。	持参の持ち出し袋の中の洗面用具	自宅の被害が大きく避難所に来ました。重たい物は持てないので、持ち出しが出来たのは、貴重品と簡単な洗面用具のみで、食べ物や衛生用品を持ってくることが出来ませんでした。す。食べ物特に制限はありません。梅干しや漬物、干物、味噌汁など、塩辛い物が大好きです。 ★段ボールベッドや簡仕切りがほしい ★塩辛い物が欲しい	15分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●歩くのがゆっくりですので、15分遅れて避難所に到着してください。あなたの動きは極めてゆっくりです。自分の居場所を、ゆっくり確保してください。 ●自分に「必要なもの」を探してください。入手できるよう、働きかけてください。 ●夜のトイレが心配なので、水分を取ることを拒否してください。 ●固い食べ物しかなかつたら、やわらかい食べ物がもらえるように交渉してください。 ●息苦しいので、マスクを外して過ごして下さい。
運営協力者	40～50代自分で設定	会社員	一部損壊程度	隣県の会社に勤めています。アウトドア好きで多少の疾病的応急処置の知識があります。	持参の持ち出し袋	代休を取り自宅で過ごしていたところに地震が発生しました。会社や同僚に電話をかけてみますが繋がらません。会社や同僚のことが気になるので、情報を得るために、持ち出し袋を持って、避難所に行くことにしました。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の運営をしようとしている人に、簡単なケガなどの対処が出来る事を伝えてください。 ●60分経過後に、避難所にいる人たちに、水分をしっかり取るように声をかけてください。 ●他の避難所や被害状況についての情報を求めて下さい。 ●この避難所に到着した人は、これから何ヶ月も避難生活を送ることになるかもしれません。災害発生直後、避難所開設初日の不安な夜をすごすためにできることを実行してください。
要配慮者	70～80代自分で設定	高齢者	大規模半壊、全壊相当	自分でゆっくり歩く事は出来ますが、関節が痛みます。また、入れ歯で、食事は軟らかいものしか食べられません。	杖	自宅の被害が大きく、近所の人に付き添ってもらって避難所に来ました。来る途中で、割れたアスファルトにつまずき、足と腕にケガをしてしまいました。季節の変わり目で、気温の変化が激しいせいか、この1週間ほど、風邪気味でした。杖をついているため、荷物は持っていないません。	15分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●歩くのがゆっくりですので、15分遅れて避難所に到着してください。 ●自分の居場所を確保し、絆創膏がないか誰かに尋ねて下さい。 ●60分経過した頃に、トイレはどこかと周辺の人尋ねてください。関節が痛く、洋式トイレしか使えないため、洋式

						★段ボールベッドや間仕切りがほしい		トイレがないか確認してください。洋式トイレが無い場合は、その必要性を管理者に訴えて下さい。 ●トイレにはできるだけ行きたくないので、水分を取らないでください。誰かに水分を取るように言われたら、トイレに行きたくないからと伝えてください。
要配慮者	40～50代自分で設定	地域住民	一部損壊程度	中度難聴です。近くで話をしてもらわないと言われることが多いですが、補聴器を使っていません。	持参の持ち出し袋	大きな揺れだったので余震があるかも知れないと思い、避難所にきました。色々な人が何か大切なことを言っているようですが、よく聞き取ることができません。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	最初から入場	●わからないこと、必要と思う情報は、本部に行って積極的に尋ねて下さい。特に、避難所に泊まる上で必要な、トイレ、食事、寝る場所、居場所などの情報は必ず得て下さい。 ●誰かと話しても良く聞き取れないので、何度も聞き返して下さい。 ●本部が声でのアナウンスをしている場合、「今、何を言っているのですか?」と周囲の人に尋ねて下さい。 ●開始から50分経過したら、難聴で聞き取れないことを周囲の人々に伝えて下さい。 ●自分に手伝えることがあれば手伝おうとして下さい。 ●食事の配食の時、食事を取りに行く声をかけてもらうか、誰かが持ってきてくれなければ、食事をもらい損ねて下さい。
要配慮者	40～50代自分で設定	肢体不自由者	一部損壊程度	普段から車椅子を使用しています。時々、ヘルパーの支援を受けて生活をしています。	車椅子持参の持ち出し袋	近所の人と車椅子で避難所まで来ました。避難所内に担当ヘルパーはいません。車椅子を使えば、一人で動くことはできます。洋式のトイレでなければ使用できません。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい	15分遅れて入場	●何処に行けば良いか（自分の場所）、本部にたずねて下さい。 ●60分が経過したら、車椅子が避難所で使えるように、自分の居場所やスペースの配置を考えよう要望して下さい。 ●トイレは洋式しか使用できないことも周囲に伝えて下さい。 ●1時間半を経過した頃、周囲の人に手伝ってもらいたいトイレに行ってください。

								トイレを手伝ってくれた人に「何か手伝えることはないか？」と相談して下さい。 ●手伝えそうなことを提案して下さい。
要配慮者	70～80代 自分で設定	高齢者	半壊程度	独居高齢者です。寂しいので小型犬を飼っています。最近は物忘れが激しいと言われることが増えています。	犬、犬グッズ（途中から）	自宅にいるときに地震が起きました。避難所には犬を連れて行けないと言っていたので犬を置いて避難所に行つたものの、やはり置いておくことができず連れてきました。犬と散歩に出かける時の持ち物程度しか持ってきていません。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい	10分遅れて入場	●避難所に到着したら、自分の場所を確保して下さい。食べ物や水、毛布などが欲しいのですが、自分から言い出しができません。 ●犬が心配なので、周囲に何も言わず、40分後に一度避難所を出て下さい。 ●外に出てから10分後に、犬を連れて再び自分の場所に戻って下さい。 ●避難所に犬がいることをとがめられたら、一度、自宅に置き去りにした後悔から、家族であることを強く主張し、一緒にスペースにいたいと訴え、犬とともにいてください。餌と水が必要であることも伝えてください。 ●自分とペットにとって最善だと思うことを実行して下さい。
要配慮者	70～80代 自分で設定	高齢者	一部損壊程度	独居高齢者です。最近物忘れがひどく、正しくゴミを出せない日があります。回覧板も上手く回せず、ご近所に迷惑をかけることが多くなっています。		大きな地震が起きたようです。近所の人が誘いに来て、一緒に避難所に来ました。たくさん的人が集まっていますが、何が起こっているのかよくわかりません。遠方に暮らす息子が、お金を借りに来ると言っていたように思うので、早く自宅に帰らないと行けないととにかく焦っています。誰かに話を聞いてもらおうと一旦は納得しますが、しばらくすると、家に帰らなければと焦ります。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい	10分遅れて入場	●避難所に到着したら、その辺に座り込んで下さい。 ●誰かに声をかけられたら「何が起こっているのですか」と聞いて下さい。名前を聞かれたり、場所を移動するように言われたら、家に帰らないといけない事情を話して下さい。 ●息子の連絡先や住所を聞かれた場合、曖昧な返答をくり返して下さい。 ●食事が配られた場合、息子の分ももらつて下さい。 ●しばしばマスクを外し、その辺に投げ捨てて下さい。 ●「息子が来るのでもう帰ってもいいですか？」「ご飯を食べていません。」「お金がなくなりました。」繰り返し、本部に言いに

							言ってください。 (認知症)	
要配慮者	30～40代 自分で設定	ぜんそく 動物アルギー	半壊～一部損壊程度	犬猫の毛にアレルギーがあります。犬猫が近くにいると目のかゆみ、くしゃみ、鼻水が出て、ひどいときは生きが苦しくなります。	持参の持ち出し袋	地震の後、水道、ガス、電気が止まっていたので避難所にやってきました。ライフラインが復旧するまでは避難所で過ごそうと考えています。 非常時の持ち出し袋は持っていましたが、犬猫に近づかなければアレルギー症状が出ないため、症状を抑えるための薬は持っていません。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所についたら、自分のスペースを確保してください。 ●避難所のリーダーらしき人が大変そうだったら、手伝いを申し出て下さい。 ●犬や猫が避難所にいることに気付いたら、くしゃみ、目のかゆみといった花粉症のような症状に陥ってください。犬や猫が近くにいる限り止まらなくなります。 ●ペットと一緒に避難所に来た避難者に対してアレルギーであることを伝えたいのですが、氣の毒で言い出せません。誰かに相談して下さい。環境の改善がない場合は、ひどい喘息が出て体調不良に陥って下さい。
要配慮者	40～50代 自分で設定	地域住民	半壊～一部損壊程度	腎疾患があります。人工透析は受けているものの、塩分摂取制限があり、味の濃いものや出来合いのおかず、インスタント食品は食べません。	持参の持ち出し袋	日常生活では、味の濃い食べ物、出きあいのおかずやインスタント食品などは、食べないようにしています。病気のケアさえ出来ていれば、日常生活に支障はなく、会社勤めをしています。避難所運営に積極的です。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所設営に積極的に意見を出しながら協力してください。 ●味付きのアルファ化米や梅干し、ふりかけ、出来合いの弁当などは、腎臓病を悪化させる可能性があるので、食べることに不安があることを本部に伝えて下さい。 ●避難所の食事は腎臓病を悪化させる心配があり、食事をとることを躊躇します。運営本部が、より塩分の低い非常食や食べれそうなものを探してくれた場合は、受け取ってください。 ●我慢して食べなければならない場合、大半を残して下さい。減塩食が手に入らないか、避難所のリーダーや本部に相談して下さい。
要配慮者	50～60代 自分で設定	地域住民	半壊程度	糖尿病を患っております、毎食のインスリン注射を使用し		大きな揺れで室内が散乱し、ライフラインも止まったので避難所に来ました。必要なインスリンは3日分持っています。運動をしそぎ	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●まずは一番過ごしやすそうな場所に、自分のスペースを確保し、物資配布が始まるのを待って下さい。

				おり、日常生活では、適度な運動や摂取カロリーを制限しています。		たり、食事の時間が空きすぎると、低血糖をおこし倒れてしまいます。低血糖を起こしたときは、角砂糖等の糖分を摂ると落ち着きます。 避難所の食事は、コンビニ弁当やパンなど、高カロリーの物が多いのではと心配しています。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい		●物資配布がなかなか始まらない場合、喉が渇いているため水だけでも早くもらえるように行動して下さい。事情を聞かれた場合に限り、糖尿病である事を伝え下さい。 ●お手伝いを頼まれた場合に限り、積極的に運営本部の手伝いをしてください。 ●1時間経過後に空腹を感じ、食事の時間を確認して下さい。 ●訓練開始から1時間30分を経過しても、食事の配付が行われない場合、低血糖で倒れて下さい。
要配慮者	30～40代自分で設定	地域住民	大規模半壊、全壊相当	小麦アレルギーがあるために、麺類、パン、カンパン、クッキーなどを食べることが出来ません。自宅で調理するもの以外の食べ物は、必ず原材料の確認をしています。	持参の持ち出し袋	家族は市外の会社に行っており、自分の仕事は休みでした。大きな揺れで自宅の壁が落ちたり、室内が散乱し、余震の不安もあるため、避難所にきました。 家族と連絡がつかず、避難所で安否確認が出来るかもしれないと考えています。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	5分遅れて入場	●避難所に入ったら、まず最初に自分のスペースを確保して下さい。できるだけ、過ごしやすい場所を確保してください。 ●しばらく避難所の様子を伺った後、家族の安否確認を試みて下さい。 ●1時間を経過しても安否確認ができない場合、安否確認者リストを張り出すことを提案して下さい。 ●運営管理者から、配慮が必要かどうか問われることがあれば、小麦アレルギーであることを伝えて下さい。 ●訓練開始から1時間を経過しても、小麦アレルギーについて伝えられない場合、小麦粉が入った食事を提供されたら近くの人に事情を話して下さい。 ●配食が始またら、小麦が入っていないことを確認して下さい。
要配慮者	50～60代自分で設定	地域住民	半壊～一部損壊程度	隣の市にある会社に勤める会社員です。長くこの地域に住んでいますが、仕事が忙し		今朝起きると熱があり、体がだるかったため会社を休みました。夕方、医療機関に行くつもりで、自宅で療養しているところに被災しました。 避難所に行くべきか悩みましたが、自宅は一人でライフラインが泊	15分遅れて入場	●避難所に到着したら、人から少し離れた場所に座り、リーダーらしき人を探して下さい。 ●リーダーらしき人の周辺に人が少なくなったタイミングを見計らい、発熱しているが、被害があり

				く、近所づきあいは少ない方です。		まってしまったため避難所に来ました。まだ熱は下がっていませんが、今のところ味覚はあります。 会社の中で、コロナ感染者はいませんでした。 ★段ボールベッドや間仕切りがほしい ★途中でスマホの充電が切れそうになります		自宅では過ごせないことを伝えて下さい。 ●直ぐに個別のスペースに案内してもらえそうにない場合は、元の位置に戻り、動かずにジッと過ごして下さい。 ●20分経っても、(再度の)移動の促しがない場合、近くの人に相談して下さい。 ●移動した場所に、病気、疾患、怪我、要配慮者などが一緒にいたら、別々にしてほしいと管理者へ伝えて改善を求めて下さい。 ●個別の場所に案内された場合は、安全に過ごすための要望を伝えて下さい。 (必要なケアがあるか、消毒等の感染対策はしっかりとできているかを確認しておいてください)
その他	30～40代自分で設定	地域住民	半壊～一部損壊程度	隣の市にある会社に勤める会社員です。 【50番が家族】	持参の持ち出し袋	2日前に会社内でコロナ感染者が発生し、濃厚接触者となりました。今朝、PCR検査を受けましたが、検査結果の連絡はまだありません。 避難所に行くべきか悩みましたが、ライフラインが止まっており、飲み水も足りず自宅で過ごすのは厳しいと思い、避難所にやってきました。 発熱や味覚がなくなるなどの自覚症状はありません。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります	5分遅れて入場	●避難所に到着したら、人から少し離れた場所に座り、リーダーらしきを探して下さい。 ●リーダーらしき人の周辺に人が少なくなったタイミングを見計らい、濃厚接触者だが自宅で過ごせないことを伝えて下さい。 ●直ぐに個別のスペースに案内してもらえそうにない場合は、元の位置に戻り、動かずにジッと過ごして下さい。 ●個別の場所に案内された場合は、同居の家族にも相談しながら、安全に過ごすための要望を伝えて下さい。(必要なケアがあるか、消毒等の感染対策はしっかりとできているかを確認しておいてください)
運営管理者	30～50代自分で設定	自治体職員	不明	当該避難所の運営担当です。普段は教育委員会事務局で仕事を	避難所運営マニュアル	★訓練参加のタイミングまで避難所運営マニュアルを読み込んで下さい。 発災時は、庁舎で平時業務を行っていました。地域防災計画の規	25分遅れて入場	●学校の先生、地域のリーダーらしき人を探し、担当職員である事を伝え、状況を確認して下さい。 ●避難所運営マニュアルに沿って対応を進めて下さい。

				をしてい ます。		定に従って、避難所開設の指示があり、担当の指定避難所に向かうことになりました。 巡回に公用車が必要なこと、道路破損状況が確認できていないこと、比較的庁舎から近いことから、自転車で向かうことになりました。 指定避難所に到着すると、既にたくさん的人が避難しています。		●担当職員として、市民の安全を守るために最善を尽くしてください。 =====避難所運営マニュアル P18 「9. 受け入れ準備」～様式 P52～無線ダイヤル --番	
運営管 理者	30～ 50代 自分で 設定	自治体 職員	不明	当該避難 所の運営 担当で す。普段 は人権課 で仕事を していま す。	避難所運 営マニュ アル	★訓練参加のタイミン グまで避難所運営マニ ュアルを読み込んで下 さい。 発災時は、庁舎で平時 業務を行っていま した。地域防災計画の規 定に従って、避難所開 設の指示があり、担当 の指定避難所に向かう ことになりました。 巡回に公用車が必要な こと、道路破損状況が 確認できていないこと、 比較的庁舎から近 いことから、自転車で 向かうことになりました。 指定避難所に到着する と、既にたくさん的人 が避難しています。	25分遅 れて入場	●学校の先生、地域 のリーダーらしき人 を探し、担当職員で ある事を伝え、状況 を確認して下さい。 ●避難所運営マニュ アルに沿って対応を 進めて下さい。 ●担当職員として、 市民の安全を守るた めに最善を尽くして 下さい。 =====避難所運営マニュアル P18 「9. 受け入れ準備」～様式 P52～無線ダイヤル --番	
要配慮 者	20～ 30代 自分で 設定	女 性	地域住 民	不明	育休中の 会社員で す。夫は 隣県の会 社に勤め ていま す。	赤ちゃん、マザ ーズバッ グ	乳幼児検診の帰り道で 被災しました。バスで 来ていたため、自宅は 歩いて1時間ほどかかり ります。赤ちゃんがいる ため、近くの避難所 に向かうことにな りました。会社員の夫とは連 絡が取れておらず、何 とか連絡が取りたいと思 っています。 外出していたため、オ ムツは残り2枚、ミル クは1回分しかありま せん。 赤ちゃんは不定期に泣 いてしまいます。周囲 に申し訳なく、夫とも 連絡が取れず「どうし よう」と思い詰めています。 ★途中でスマホの充電 が切れそうになります ★段ボールベッドや間 仕切りがほしい	10分遅 れて入場	●どこかにもう一人 赤ちゃんがいます。 赤ちゃんを抱いてい る人を探して一緒に いるようにしてくだ さい。 ●不定期に泣く赤 ちゃんを、必死にあや してください。 ●夫と連絡が取れな いため、被害状況や 安否確認、交通機関 の情報など、本部に 何度も確認を行って ください。 ●アルファ化米は喉 を通りません。配食 時に食べられないこ とを伝えて下さい。 ●食事が配られた頃 に、赤ちゃんがウン チをしてしまいま す。オムツを替えて ください。 ●赤ちゃんに必要な 備蓄品をもらってく ださい。
非協力 者	50代 後半 自分で 設定		地域住 民	マン ショ ン 12F、	会社役員 です。仕 事1本で 努力し、	出張の代休で自宅にい たところ、大きな地震 が起きました。自宅 はマンションで被害は	5分遅 れて入場	●運営本部に行き、 プライベート空間の 確保を強く要請して 下さい。「隣の人	

			エレベーター停止	今は大企業の役員として活躍しています。自分は特別という意識を強く持っています。		なさそうですが、ライフラインが止まつたうえ、エレベーターも停止しており、12Fで往来が厳しいため、避難所にきました。たくさん的人が床に座っていて、自分の空間がないことに苛立っています。他の人と同じように、狭いところで毛布一枚で横になることに、非常に強い抵抗感があります。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります ★段ボールベッドや間仕切りがほしい		ジロジロ見ている」「早くついたてを立てないように」と主張してください。（やや命令調） ●思うようなプライベート空間の提供が受けられない場合「こんな時こそ役所は働け」「何をしてるんだ」など、パワハラ発言をくり返して下さい。 ●同じように運営本部に不満を持つ人を見つけたら、運営本部の悪口を言い合って下さい。 ●赤ちゃんの泣き声にイライラを募らせてください（うるさい！）。 ●食事時に赤ちゃんのオムツ替えをしているので、「なんだこの臭いは？臭い。」と不快感をあらわにしてください。
その他	50代自分で設定	市議会議員	半壊～一部損壊程度	市議会議員を5期務めています。地域のことは何でも知っていると自負しています。		住民の不安を取り除き安全を確保するため「自分の出番だ！任せろ！」と燃えています。自分の暮らす地域でもあり、知り合いがたくさん避難しています。 地震が発生したときは、議会で仕事をしていましたが、直ぐに地元に戻ってきました。避難所に到着すると、まだ行政の担当職員は到着していません。	10分遅れて入場	●最初に自治会長を探してください。避難している人達に「必要なものはないか？」と聞いて周ってください。 ●必要な物があるか、学校関係者に聞いて下さい。 ●行政職員が到着したら、やった方がいいと思うことや、必要なものが何か、誰が困っているかななど、逐一意見を出して下さい。 ●あなたの印象にある議員像を、そのまま演じてください。 ●時々、マスクをずらして大きな声で話して下さい。
その他	20代後半自分で設定	フリーター	マンション	務めていましたが心的ストレスが原因で退職し、仕事量を調整できるアルバイトをしています。		アルバイトから帰ってきた直後に地震が発しました。備蓄などはしておらず、ライフラインが止まっていたため、避難所に向かうことになりました。 室内は散乱していますが、マンション建物に被害はなさそうだし、たくさんの人のいる場所は苦手なので、ライフラインが復旧したら部屋に戻るつもりです。	5分遅れて入場	●避難所に到着したら、とりあえず居場所を確保して下さい。 ●手伝いを頼まれた場合、積極的に手伝って下さい。 ●災害や避難所についての知識がないため、とても強い不安を感じています。食事の事やこれから先どうなるかなど、不安解消のために色々聞いて下さい。

						非常に不安感が強いため抗うつ剤が必要ですが、ちょうど薬が切れてしまいました。 ★途中でスマホの充電が切れそうになります		●しばらくは避難所で過ごすことになりますが、常用薬がありません。お薬手帳アプリを使っていますが、スマホの充電がもうありません。
要配慮者	20～30歳	外国人	寮	隣の市にある工場で仕事をしているインドネシア人実習生です。イスラム教徒です。簡単な日常会話はできます。		夜勤明けで、外国人がよく買い物をするスーパーに買い出しに向かう途中に地震が起きました。家から出てきた人達が、同じ方向に逃げていく様子を見て、避難する人達に付いてきました。 地震の話しさ聞いたことがあります、初めての事で、何が起こっているのか、どうすれば良いのか全く判りません。 寮があるのは、――市です（避難所のある市ではない）。	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の隅の方に居場所を確保し、声をかけられるまでジッとしていてください。 ●ゆっくりと、わかりやすく話しかけられたら、返事をしてください。 ●訓練から40分経過したら、外国語（インドネシア語）の情報を求めて下さい。 ●何か用紙に記入するように言われた場合、名前以外は何を書くのかわかりません。（名前一男性：Slamat、女性：Sri） ●他の人が何をもらっていたら「私にもください」と物資をもらって下さい。 ●食事が配られた場合、ハラルフードを求めて下さい。
要配慮者	30～40歳	女性	外国人	マンション	夫が日本人です。日本で暮らし始めて3年で、子どもはいません。簡単な日常会話はできますが、読み書きは苦手です。	夫は仕事に出ており自宅で一人の時に地震が起きました。夫から「大きな地震があるかもしれません。地震が起こったら避難所に行くように。避難所に行けば安全で、お互い会えるはずだ。」と言われていたので避難所にやってきました。 避難所にはたくさんの人があります。普段使わない日本語や早口で話す人が多く、状況がよくわかりません。	10分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所に着いたら、誰かに何処にいればいいか、教えてもらって下さい。 ●ゆっくりと、わかりやすく話しかけられたら、返事をしてください。早口だとと思ったら「わかりません」と伝えて下さい。 ●訓練から30分経過したら、外国語（タガログ語又は英語）の情報を求めて下さい。 ●何か用紙に記入するように言われた場合、名前以外は何を書くのかわかりません。（高木ジョイス（Joyce）） ●夫と出会うことができません。夫の安否確認、何処にいるかを何度も問い合わせて下さい。
要配慮者	70～80歳	高齢者	一部損壊程度	独居高齢者です。正確はおとなしく、外出自粛を徹		自宅の損害は大きくありませんが、余震が不安なので避難所にやってきました。地震が怖くて避難所に来てからも動機がおさまりませ	10分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所に到着したら、「動悸が激しいので横になりたい」と訴えて下さい。声をかける人がいたら「心臓がドキドキし

				底してお り、自宅 から出る ことはほ とんどあ りませ ん。		ん。 普段の生活では、入れ 歯のため硬い物が食べ られず、おかゆなど軟 らかい食事を取ること が多いです。		て少し苦しい」と伝 えて下さい。 ●マスクをしていな かったり、大声で話 す人がいるかもしれません。感染リスク を減らすため、でき るだけ小さくうすく まって過ごして下さ い。 ●感染が心配なので トイレには行きたく いません。水分は 受け取らないように してください。 ●食事がおかゆなど の柔らかい物でなけ れば、食事を拒否し て下さい。 ●日没後に、寝る準 備をするため、入れ 歯のケア用品を求 めて下さい。
要配慮 者	70～ 80歳	高齢者	半壊 ～一 部損 壊程 度	自主防災 会のメン バーでし た。現役 の頃は防 災活動に 熱心に取 り組んで きました が、高齢 で引退し ていま す。		地震が起きたので、避 難所の運営を手伝わね ば、と強い責任感を感 じながら避難所に来ま した。 地域の指定避難所の他 に、福祉避難所がある ことも知っており、障 害者や特別なニーズを 持っている人は、福祉 避難所に行くべきだと 考えています。	5分遅れ て入場	●避難所に到着した ら、学校関係者やリ ーダーらしき人に細 かく状況を尋ねて下 さい。 ●「こうすればい い」と思うことを、 どんどん提案してく ださい。その通りに 直ぐにならなければ、 言うとおりにす れば間違いないと、 念をおしてください。 ●自治体の担当職員 が到着したら、要配 慮者がいるから人手 が取られていまい避 難所がバタつく、他 の場所に移すべきだ と訴えて下さい。 ●障がい者や要配慮 者は隔離しておくの で、すぐに迎えに來 るよう、災害対策本 部に連絡を取るよ うに本部に強く主張 して下さい。 ●スムーズな避難所 運営のため、子ども 連れや疾病者、地元 以外の人を排除する 行動を起こして下さ い。
要配慮 者	70～ 80歳	高齢者	大規 模半 壊、 全壊 相当	要支援2 の独居高 齢者で す。週に 2回、ヘ ルパーに 来てもら ってい、 入浴や買 い物をし		自宅が全壊し、近所の 人に連れられて避難所 にやってきました。ケ ガはしていませんが、 強烈な不安と喪失感か ら、悪い方に悪い方に 物事を考えてしまいま す。 以前、災害時には炊き 出しがあったり、医者	15分遅 れて入場	●避難所に着いた ら、運営本部らしき 場所の近くに居場所 を確保して下さい。 ●本部に強気で詰め 寄っている人に便乗 して同じ事を要求し てください。主張が 通りそうな強く見え る人に同調してくだ さい。

				てもらつています。		や看護師が避難所に来ると聞いたことを思い出しています。 いつものヘルパーの姿が見えず、精神的に不安定になっており、語気の強い人や本部で交渉をしている人を見つけると同調してしまいます。		さい。 ●運営を行っている人に伝わるように根拠のない噂話を流してください。 (例) 70人分の炊き出しが来る (例) 1時間後に医者が来る ●ヘルパーを求めて下さい。何かの記入や質問を受けたら、ヘルパーに確認しないとわからない、と弱気になってください。 ●とても不安な高齢者として振る舞って下さい。
要配慮者	70～80歳	高齢者	大規模半壊、全壊相当	要介護1の独居高齢者です。週に2回、ヘルパーに来てもらっています。入浴や買い物をしてもらっています。		自宅が全壊し、近所の人に連れられて避難所にやってきました。ケガはしていませんが、強烈な不安と喪失感から、悪い方に悪い方に物事を考えてしまいます。 日常生活のほとんどは自分でできていたのに、避難所に着いてからは立ち上がるのも辛い状態です。 動搖が激しく、状況を理解しようと思いますが、周りの人の説明もよく理解できません。	10分遅れて入場	●避難所に着いたら、運営本部らしき場所の近くに居場所を確保して下さい。 ●周囲の人や本部のアナウンスの内容が理解できません。自分で言い出しきることもできず、誰かが声をかけてくれなければ、物資も受け取り損ねてしまいます。 ●普段お世話になっているヘルパーを求めて下さい。 ●一人でトイレに行くことが出来ません。水分はあまり飲まないようにしてください。 ●30分おきにトイレに行きたいとつぶやいて下さい。 ●とても不安な高齢者として振る舞って下さい。
要配慮者	70～80歳	高齢者	半壊～一部損壊程度	全ての身の回りのことをしてくれていた妻を1年前に亡くしています。一人になってからは、家事サービスを利用しているため、家事や自分の身の回りの整理が苦手です。		近所の人に促され、避難所に避難してきました。半年前にコロナに感染したものの、大事に至らず無事退院してきました。 家事が苦手なので、他の避難者の手伝いをするなど、思ってもいません。避難所に来ましたがストレスで気が滅入ってしまっています。心なしか、体調も思わしくないと感じています。	10分遅れて入場	●避難所にきたものの、何処に居場所を確保したら良いのか、何を取りに行けば良いのか、自分一人ではさっぱりわからず、近くにいる人に聞きまくって下さい。 ●避難所運営の手伝いを頼まれることがあれば、高齢であることや、やり方がわからないこと、体調が思わしくないことを理由に、協力を済つて下さい。 ●避難者カード、名簿は、目が見えにくいので書かないで下さい。（しかし気にはなります）

								●運営管理者から納得できる誘導があれば、自分の意思で行動して下さい。
要配慮者	75歳	高齢者	半壊～一部損壊程度	人混みが苦手で、口数も少ない方ですが、病気もなく、いわゆる元気高齢者です。		あなたは、人混みが苦手で、口数も少ない方です。特にケガもしておらず、体調不良もありません。避難所には車を運転してきました。避難所から少し離れた場所にある駐車場には、15台ほどの車が止まっており、車中泊をしようとしているよう見えます。	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所に入り、一旦は自分のスペースを確保してください。 ●名簿の作成が始まつたら、他の被災者同様に名簿に記入してください。 ●避難所運営本部の指示に従って行動をしていましたが、多くの人の内で過ごすことに対する抵抗を感じ、車中泊を決意します。 ●訓練開始から2時間後（日没頃）に、車中泊に必要だと思うも備品入手し、避難除外に出て下さい。 ●他にも車に避難している人がいることを伝え、備品をもらおうとして下さい。
要配慮者	40～50代自分で設定	地域住民	大規模半壊、全壊相当	精神障害を持っています。普段は薬でコントロールができるので、社会生活を送ることができます。		自宅の被害が大きく、避難所に来ました。大きな地震にショックを受けて、精神状態が非常に不安定です。不安であることや、して欲しいことを上手く伝える事ができず、イライラしています。不安が大きいときは、向かい合わずに、ゆっくり話してもらえると、落ち着いて話すことができます。人が多くて落ち着かず、雑音が耳の中で響いています。周りの人はずっと見られているように感じてしまします。	最初から入場	<ul style="list-style-type: none"> ●開始から20分ほど経過したら、独り言を言いながらイラライラと動き回って下さい。 ●注意やジツとするように促されたら、大きな声で「うるさい。放っといて。」と叫んで下さい。 ●イライラが続いた後、疲れてうずくまる、本部で何故地震が起きたのか問い合わせる、を定期的にくり返して下さい。 ●不安である事を、態度で表すように行動して下さい。 ●心が落ち着く方法を尋ねられたら（自分の安心に関心を持つてもらえたら）、背中合わせでなら話せることを伝えてください。
その他	30～40代自分で設定	地域住民	半壊～一部損壊程度	34番の家族です。市内で仕事をしています。【34番の家族】	持参の持ち出し袋	同居の家族の会社内でコロナ感染者が発生しました。家族に濃厚接触者がいるため、念のために今日は仕事を休んでいました。同居の家族の検査結果の連絡はまだないので、陽性なのか陰性なのかわかりません。避難所に行くべきか悩みましたが、ライフラ	5分遅れて入場	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所に到着したら、人から少し離れた場所に座り、リーダーらしきを探して下さい。 ●同居の家族と、避難所内でどう過ごせばいいのか相談してください。 ●個別の場所に案内された場合は、安全に過ごすための要望

								<p>インが止まっており、 飲み水も足りず自宅で 過ごすのは厳しいと思 い、避難所にやってき ました。</p> <p>★途中でスマホの充電 が切れそうになります</p>		を伝えて下さい。 (必要なケアがある か、消毒等の感染対 策はしっかりとできて いるかを確認してお いてください)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

○動画用スライド（前半）



令和3年度 ひょうご防災リーダー講座フォローアップ研修
リアル避難所運営訓練の概要と背景

一般財団法人ダイバーシティ研究所

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>



内容

➤訓練の概要と背景

- ①訓練の特徴
- ②データで見る被災者の様子
- ③地域の様子を反映する
- ④訓練シナリオ
- ⑤マニュアル外の想定で訓練をする
- ⑥モデル地区と被害想定について
- ⑦訓練のチェックポイント

©一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/> 1

①訓練の特徴



リアル避難所運営訓練とは…

- **ロールプレイ訓練・避難者体験**
訓練参加者が、ひとりずつ与えられた役割を演じる
- **全員アドリブで対処**
参加者の行動のいくつかは指示されたものですが、訓練中の行動のほとんどは、参加者自身(役どころ)の意思(発想)
- **参加者自身が多様な視点の当事者**
行政職員や要配慮者など、様々な役割が設定されており、それぞれの役どころから避難所を体験
- **想定外を想定**
マニュアルをなぞる訓練と異なり、実際に生じる可能性の高い事柄を基準とした訓練シナリオ

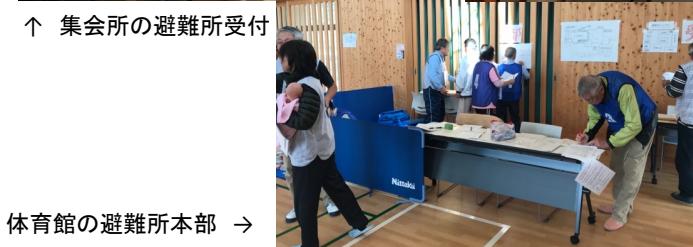
①訓練のねらいと特徴



↑ 集会所の避難所受付



↑ 体調不良者の隔離と定期的な巡回



体育館の避難所本部 →

ロールプレイ

①訓練のねらいと特徴



役づくり・役割力ード

バス No.	年齢	性別	属性	自宅被害
赤 11	80 代 自分で設定		高齢者 要介護 3	被害あり

○平時のおなた
日常生活の多くに介助が必要です。
足が弱ってて、ゆっくり少しあか歩けません。認知能力も低下気味です。
【12 の親】

○使用する備品

○訓練に入るタイミング
15 分遅れて入場

○現在の状態
昼食後、横になっているときに大きな揺れを感じました。何とか逃げなければいけないと思いましたが、体が思うように動きません。
しばらくすると、子どもが「避難しよう」と声をかけてきました。
「避難所に行けば必要なものはあるだろう」と子どもが言うので、保険証や財布、通帳を入れた袋だけを持ってきました。

★段ボールペーパーで間仕切りがほしい

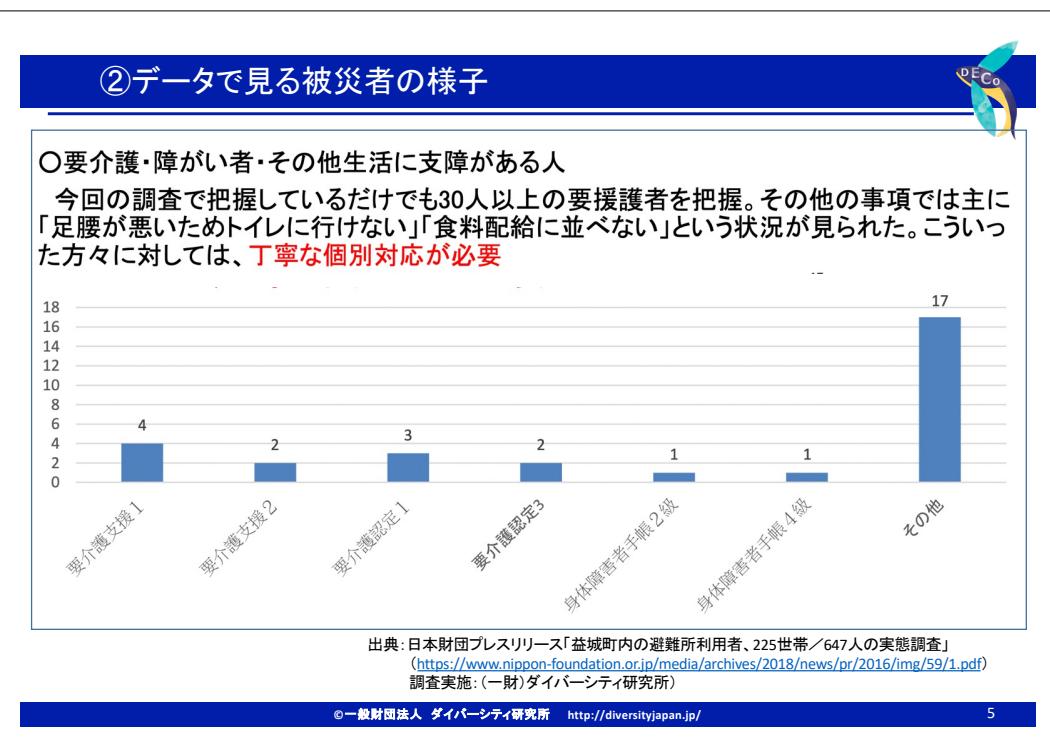
○訓練中の行動
 ●避難所に到着してから、薬を持っていないとつぶやいてください。
 ●体育館の床の上に直接座ると足が痛いことを、子どもに伝えて下さい。
 ●食べ物や水など、手元にないため、とても不安です。
 ●長い時間を避難所で過ごさなければなりません。水が欲しい、トイレに行きたい、静かなところに行きたい等、全面的に解除が必要な高齢者になりきって行動して下さい。
 ●息苦しいので、マスクをしばしば外して下さい。

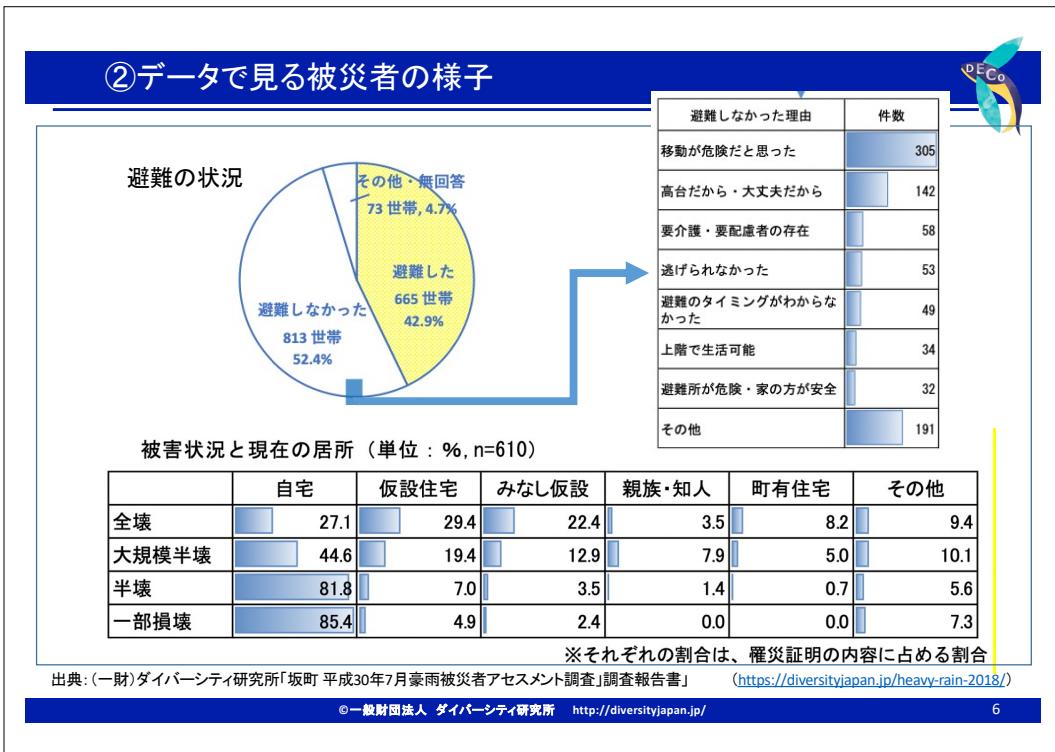
あなたの今の気持ち

高齢者
要介護 3

©一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

4





③地域の様子を反映する

役割カードの種類

種類	役柄
避難所運営管理者	自治体職員、自治会長、自治会役員等
避難所運営協力者	サークル活動のリーダー、ひょうご防災リーダー、世話好きの住人等
要配慮者	高齢者、外国人、障がい者、赤ちゃん等
非協力者	クレーマー
その他	状況によって振る舞いが変化する人

©一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

7

③地域の様子を反映する



統計情報	人数	割合	出所
65歳以上の高齢者について認知症有病率推定	—	15.50%	平成28年版高齢社会白書
要介護3以上の65歳以上高齢者数	1,897,000	1.50%	平成28年版高齢社会白書
糖尿病り患者（診断／強い疑い）	13,005,268	10.26%	厚生労働省「平成26年国民健康・栄養調査結果」推計
慢性腎臓病（CKD）	13,300,000	10.49%	CKD 診療ガイド2012（日本腎臓学会編）
透析患者	320,448	0.25%	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況（2014年末）」
知的障害	741,000	0.58%	平成29年度版「障害者白書」
精神障害	3,924,000	3.09%	平成29年度版「障害者白書」
身体障害者	3,922,000	3.09%	平成29年度版「障害者白書」
肢体不自由	1,802,777	1.42%	
視覚障害	313,743	0.25%	
聴覚・言語障害	358,563	0.28%	
内部障害	1,086,646	0.86%	
15歳未満の自閉症・発達障害	—	6.5%	文部科学省調査（平成24年実施）
食品アレルギー （食物アレルギー診療ガイドライン2012）	乳児で5～10%、幼児で5%、学童以上で2%前後		

統計情報から地域の
要配慮者を予測

©一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

8

④訓練シナリオ



実際の避難所で起こった出来事がモデル

<訓練中に発生するシナリオの例>

- 受付や本部での混乱
- 体調不良者の存在、ケア不足による体調の悪化
- 支援物資の不足
- トイレに行けない、水分を取らない
- 盗難、痴漢、不審者の出入り
- 飲酒や喫煙
- 安否確認や名簿（個人情報）の掲示
- マスコミの取材
- 避難所の統合

©一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

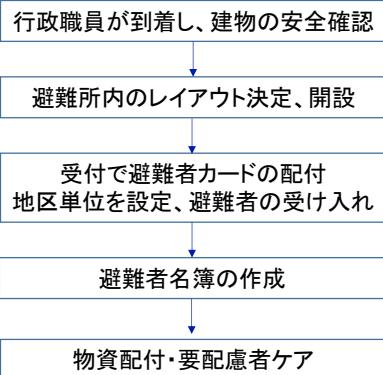
9

⑤マニュアル外の想定で訓練をする

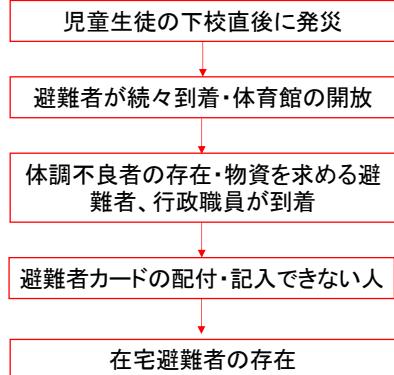


マニュアルより発生可能性の高い出来事を優先

マニュアルで想定している進行



訓練シナリオの進行



⑥モデル地区と被害想定について



被害想定

平日の日中

最も警戒される災害の一つ

令和3年11月17日(水)15時51分、南海トラフ巨大地震が発生(M9.0)
震度6強の激しい揺れにより、家屋等建築物の倒壊、道路陥没、液状化、火災発生等の被害が出ている模様。

モデル地区

伊丹市

総人口:198,076人
世帯数:83,909世帯
高齢化率:26.1%

笹原小学校区

地区口:16,712人
高齢化率:29.5%



訓練到達目標(チェックポイント)

- ✓避難所の本部、受付、住居スペース等、避難所の基本的な機能を設置すること
- ✓食事の準備、就寝スペースの確保等、一晩を明かす準備を終えること
- ✓要配慮者のスペース、要配慮者の配慮が行われること
- ✓おおよその名簿、備品の管理等、外の支援に繋がるための準備をすること

『リアル避難所運営訓練の背景と概要』についての説明を終わります。

続けて、実際に行った訓練の動画をご覧下さい。

○動画用スライド（後半）

令和3年度 ひょうご防災リーダー講座フォローアップ研修
訓練から見る避難所運営のポイント

一般財団法人ダイバーシティ研究所

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 <http://diversityjapan.jp/>

内容

➤ 避難所とは

- ①避難所に求められる機能
- ②避難所はどのような場所

➤ 避難所運営に求められる視点

- ③避難所は被災された方を支援する拠点

➤避難所とは…

2

①避難所に求められる機能

(1) 物資の支給

水や食料、衣類、衛生用品などの生活用品、毛布や段ボールベッド等の支援物資の支給

(2) サービスの提供

自治体による安否確認、保健師などによる健康管理、通信環境（電話・Wi-Fi）、充電サービス等の提供

(3) 情報提供・相談対応

公的な情報の他、民間企業やボランティア団体による支援情報の提供や問い合わせ

(4) 生活の場の提供

寝食スペース、トイレ・洗濯、調理、学習スペース等の他、食事などを温める電子レンジやポットなど誰でも使える調理器具のある場所の提供

3

②避難所はどの様な場所か

避難所

一次的に災害の危険が去るまで
危険から逃れる場所

一定期間もしくは長期にわたり
避難生活を送る場所

- 若く行動力のある人の方が早く避難でき、配慮が必要な人は、避難に時間がかかる。
- 風水害は予測ができるが、地震災害は発災の予測ができない。
- 災害の危険が去っても、土砂崩れや余震など、予測のつかない危険と隣り合わせになる場合もあり、避難が長期化する場合もある。
- 数時間～短期間の場合でも、食事や就寝、トイレなど、生きるために必要なことをする場所。
- 避難が数日～中長期になる場合、避難所が「生活の場」となる。
→起床、就労、食事、就寝…
→生活に必要な身の回りのこと
→保健・医療や必要なケア
…など

避難所は命をつなぐ場所

4

➤避難所運営に求められる視点

5

③避難所は被災された方を支援する拠点

避難所は「被災された方を支援する拠点」

- ・避難所の被災者だけが支援対象ではない
在宅避難者、車中避難者、帰宅困難者など全員が対象者
- ・運営体制に多様性があること
多様な避難者のニーズを見逃さない、必要な配慮ができること
- ・避難所は生活の場
被害が大きいほど、避難生活が長期化する
自治体職員のみが避難所を運営するのではなく、住民も一緒に

6



7



コミュニケーションと柔軟性

流動的な状況に合わせて対処すること
人としての繋がり

避難所は「被災された方を支援する拠点」

9

2021年10月17日(日)



○つぶやきシート（記録）

参加者がロールプレイの最中に感じていたことを、役割別・時系列で整理しています。

①時系列

運営管理者

- 開始～15分頃
 - ・ 名簿の作成を学校関係者に任せずに、地域住民に任すべきであった。
 - ・ 設営途中で入場。
 - ・ 教頭先生の指示で受付担当するも、引率した小学生達が大人の周りをワサワサするので不安になり付添いする事になりました。
 - ・ 子供達はとても不安になるな、と思いました。
 - ・ 学校の先生(特に担任)は子供についていてあげるべき。
 - ・ 設営や運営のお手伝いには参加しないで子供の安全を守る。
- 15分～30分頃
 - ・ 避難所運営、危機を感じた。
- 60分～1時間15分頃
 - ・ 当初は教頭先生が受付担当→他に呼ばれて受付を誰かに頼んだところ受付が疎かになり、出来ないまま住民が入館してしまった。
 - ・ 校長、教頭はフリーにしてほしい。
 - ・ (校長、教頭の横に10分程居たけど全然話しが出来ないくらい忙しそうでした)
- 1時間30分以降
 - ・ 子供達を連れて避難所に戻ると、面識のない人物から「外国人の取りまとめ役をしろ」と突然指示される。
 - ・ 校長、教頭を通して欲しい旨伝えたら「アンタ先生だろ？」自治会長でした。
 - ・ リーダー格の方は腕章するなど、一目で判るよう印を付けてほしい。

運営協力者

- 15分～30分頃
 - ・ 何もする事がなかったが、お助け隊として動いた。
- 1時間15分～1時間30分頃
 - ・ 積極的に動きたい気持ちはあるが、何かと出遅れる。
 - ・ グループが出来ているところへ入るのは難しい。
 - ・ 何か役割がある時の方がほっとする。

要配慮者

- 開始～15分頃
 - ・ 避難所名簿に記載せず、仮避難場所を指定された。
 - ・ 不安。
 - ・ 本部が無く、聞きたい事があるのに……。
 - ・ 半壊の家に家族と思っている犬を置いてきたが心配だなあ～。
 - ・ 食べ物も水もない。
 - ・ 毛布も欲しい。
 - ・ 誰に言えば良いのだろう！
 - ・ 受付が出来たな～。
 - ・ 避難者も少ないし、家にいれば良かった～。
 - ・ 名簿記入している人を横目に入場。誰にも声掛けられず入る。
 - ・ 何だろう、とは思うが不安感はある。
→5分ほどうろうろ見渡し、どこへ行けばよいか声掛け。
 - ・ とりあえず座ってて、と云われ、膝が痛いと伝えると、ステージ(椅子がわり)に座させてもらえたのは助かった。
 - ・ 各役員の役割分担ができていない為、設営が遅い。
 - ・ 担当ゼッケン作るべき。
- 15分～30分頃
 - ・ 会議室に授乳用ミルク用のお湯有りを伝える。
 - ・ 誰も話しかけてくれないし、何が起こってるか全くわからない。
 - ・ 怖い。
 - ・ 話しかけてきた人もどこかに行った……。
 - ・ 何回も夫の所在をたずねるが、分からない。
 - ・ 言葉が通じないので不安。

- ・ 本部がわからない。
- ・ どこでどうするのか、わからない。
- ・ ホワイトボード(伝言表示板)を市会議員 No.39 が勝手に使う。
⇒情報の混乱発生⇒担当記入者は決めるべき。
- ・ パーテーションの作成手伝い 他 周りにすることがなく、フリー状態であった。
- ・ やっと本部横で待っておくように言われるが、不安。
- ・ 本部横へ案内されて少しホットする。
- ・ 名簿、グループ作りを求められる。
- ・ (役)恐怖が先に立って答えられない。特徴書きとめた様子。
- ・ 受付担当者「No.7 自治会長」さん、対応。相當に混乱されています。
- ・ サポーターが必要では?
- ・ 運営責任者が誰かわからない。
- ・ 言葉の通じない人が集まっている部屋に案内される。でも、夫が心配。
- ・ いきなり「グループをつくるので」と云われる。意味が分からない。
- ・ 名前を書け、と云われる。不安でしかない。
→(●●)自治会さん その後、名前も聞き終えることなく去る。
- ・ 13:30頃 ちがう人が大丈夫? と声を掛けにくる。

- ・ 30分～45分頃
- ・ 会話が得意な人だけ希望がかなってる……。
- ・ ダンボールベッドの組立を手伝うが二度と組立ては出来ない。
- ・ 話しかけてきたが、何を言ってるか聞きとれない。もう少し様子を見てみよう。
- ・ 医療スタッフをお知りで欲しい。診察して欲しい。
- ・ 次々にいろいろ求められるのが不安、周りで作業しているのをキヨロキヨ口見てしまう。
- ・ 高齢者と見て、体調を聞いて下さる方。
- ・ 居場所、居心地を聞いて下さる方。少し安心。
- ・ 知らない人に声かけられて怖い。
- ・ ダンボールベッド5ヶ完成。(平均組立タイム 約20分×4人～5人組)
- ・ 照明ダウン 暗い。
- ・ 誰に話しかけたり、相談していいかわからないなあ……。
- ・ お水(ペットボトル 500ml×1本)配給有りました。
- ・ ダンボールパーテーション作成が苦労していた。なかなか出来ない。
- ・ 役割分担がいまいち分からない。

- ・ 外国語の情報を求めたが、理解してもらえなかつたので、部屋に戻る。
 - ・ 絶望……。
 - ・ 夫はまだ。
 - ・ 何を言っているのかわからない。
 - ・ 水の配給。素通りされた。
 - ・ 欲しい人優先だとしても高齢者には配布必要。
 - ・ 反応遅いから。
 - ・ 「お水いかがですかー？」とくるが、周りの元気な者にのみ配り、
 - ・ 下を向いて気付かない高齢者、認知症、要介護、高齢者(自分からは声を出さない)弱者を無視して去る。
 - ・ 現況ボードに記入始まる。(「No.7 自治会長」×1名で(?))
 - ・ (病人、体調不良者、授乳室、会議室 No.1、No.2 ect…)
 - ・ 臨時医務室 赤十字のマークを提案する。万国共通の為。
 - ・ 「水いりますか」と言わされて何も言えないでいると行ってしまった。
 - ・ 置いていってくれたらいいのに。
-
- 45分～60分頃
 - ・ 携帯TELの充電場所を捜している方、有り。(私が受付をサポートする事になる)
 - ・ グループを作れとの指示が出た、高齢者43は心臓が悪いとの事であるが案内がない。(医療スタッフは?)
 - ・ ブルーシートの上を土足で歩くマナー？
 - ・ ダンボールベッド製作(協同作業) ●●の方が早い。
 - ・ 拡声器なし。
 - ・ 犬を入れていいか？
 - ・ パーティションの組立てに苦労している。
-
- 60分～1時間15分頃
 - ・ 自分だけ取り残されていると感じる。
 - ・ 名簿について再度呼びかけアリ。
 - ・ 不安。
 - ・ 犬を連れた方。周りへの気づかい有◎
 - ・ 簡易トイレはもらったけど、トイレの場所がわからない。
 - ・ パーテーション×1ヶ完成。13:55 パーテーション×1ヶ完成。
 - ・ 小型犬だし、家に置いておけないので、バッグに入れて連れて来よう。

- ・ 水をくれるみたいなので、2本もらおうとしたら怒られた。1本だけもらえた。
- ・ 食事要望が受付に有り。(クレーマー?)
- ・ 同、体調不良者×1名発生。医務室へ案内する。
- ・ 受付に照明ランタン点灯。(安心感発生)
- ・ 同、各種要望に応える為、人員の手配。
- ・ (食事係配分 被災者は50人となる。
⇒◎備蓄・アルファ化米×30袋 ・アルファ化米×4.5kg)
- ・ 遊んでいる人達、多い。(自主積極的に行動しない)
- ・ 女性専用スペースがないか聞いたけどよく分からない。別の場所に連れてこられた。
- ・ 家は大丈夫なのか。
- ・ 仕切りを作られて安心な一方、不安も。
- ・ 周りで声かけなしに勝手にやられて怖い。
- ・ 仕切りで周りが見えない。ダンボールベッド設置による閉塞感。

- 1時間15分～1時間30分頃
 - ・ ベッドの方へ行くよう声を掛けられたが、犬がいるので片隅にいる。とても犬を連れて避難所には入れない。ペットエリアが欲しい！その後、誰も話しかけてこず、どうしていいかわからない。
 - ・ 福祉避難所に移動した方がいい人を見つけたけど、市の対応が遅い。指示系統が決まっていないのでむちゃくちゃ。
 - ・ 避難してきて1h、強い声かけに不安になった他は名簿について何度も声かけ有。但し個別でないので無反応。
 - ・ 最初は活発な動き(ベッド、間仕切作成)あったが、今は何をしているかわからない。
 - ・ 脱出→誰も気がついてくれない→トイレ行きたい。
場所分からず。→うろうろし、座ろうとして転ぶ。すぐ助けには来てくれた。
 - ・ トイレ要望するも、トイレ無しとの事(どうするの？)トイレが我慢できなくなり、トイレの場所を尋ねる。トイレ→絵にして欲しい。
文字だけでは理解できない。
 - ・ のどが渴いた。誰か水持ってきてくれないか。周りで物音がするのが怖い。
 - ・ ずっと一人だけどヘルパーさんは来ないのか。さみしい。
 - ・ ポータブルトイレ 到着する。

- ・ 「水分補給して」と言われてもまず水がない。飲んでいる人がうらやましい。
- ・ 水の配布の呼びかけがあり、適時に配布されてきた。
- ・ 動けない時間が所々にあり、不安になる。
- ・ 水をまたたくさんもらおうとした。今度はもらえた。
- ・ 良くわからないけど他の部屋に連れて行ってもらった。
- ・ 子どもがいたけど、家に帰りたい。不安。いつ帰れるんだろう。
- ・ やっと「大丈夫ですか」と声を掛けられ、意を決して「水がほしい」と伝えた。
- ・ なんか向こうで言ってるけどよくわからん。
- ・ さみしいから子どもさんがいる所に移動した。
- ・ 再度、外国語の情報を求めたら、即答で無理(外国語では) 手話でと言われたが、外国語の分かる人いますかとか全体に問いかけて欲しかった。
- ・ ヘルパさん求めるも反応なし。地域住民→ナース連携でヘルパーが来ない説明を受ける。伴われて会議室へ移動。
- ・ ベッド与えられるも独人。心細い。淋しい。
- ・ 全員が話す為に注目されるよう音を出す事。(大声でも良い 全員に知らせる事が大事)

- ・ 1時間30分～
- ・ 津波の説明をしてくれたが、わかるように教えてくれた。逃げるのではなく、この建物について大丈夫と教えてもらって安心した。
- ・ やっと水が来た。「他に何か必要ですか」と声を掛けられた。知らない人でもうれしい。
- ・ 別室のペット専用場所へ案内して頂く。食べ物もお願いした。
- ・ 教頭先生が声をかけてくれた。何かをする気力はないが、少しだけほつとする。
- ・ ほぼ1時間たったが、組織的な動きが出来ていない。役員のみの会議であり、他の人については個々の動きが取りづらい状況であった。
- ・ 全体の状況が把握できない。
- ・ 看護師に声掛けられ、隣にいた年配の方が場を離れる。話し相手いなくなり、不安になる。
- ・ 空気悪くなって来た。食料配布、備品入手 備品がない。
- ・ ようやく打ち解けた高齢者仲間がヘルパーとともにどこか行った……。
- ・ 女性専用スペースに自分以外誰も来ない。また不安になる。

- ・ 食事が届く。食べられるか不自由がないか確認してもらう。少し安心——関心を持つてもらえることが⬆
- ・ 言葉が乱暴なだけで心根まで扱いまで雑に感じる。言葉が丁寧でも状況をくんでくれるとか共感してくれるがないと虚しい。
- ・ 食事のアナウンスが聞こえず、もらえなかつた。掲示板に書いてほしい。
- ・ トイレに連れていってくれた。
- ・ ペットエリアが余震で使えなくなつたので避難所へ戻る。
- ・ マスク外した高齢者に誰も声を掛けない。→怪しい人がいる、と声を掛けれる。熱なしで、元の位置へ。マスク厳重注意で終わる。
- ・ 犬の食べ物が欲しい。鳴き止まない。廻りの人に家族と同じ旨、説明して小型犬だから一緒におらせて下さいとお願いする。
- ・ 食事アルファ米を頂き、愛犬と分けて食べる。
- ・ 避難者カードを書きに行つたが、うまく伝わらず、冷たい対応をされて悲しくなつた。
- ・ いきなり隣にいた人が倒れた。誰か来た。優しくしてもらえてうらやましい。→赤ちゃん連れの女性が来た。何の説明もなく来られて驚く。何かする時は事前の声掛けをしてほしい。
- ・ 余震のため講堂へ戻る。(ナースに伴われ)受付を通る際、水を持ってないと渡される。
- ・ 他の避難者の犬をつれて歩くも、無反応。→遠慮しすぎ。要声かけ。

非協力者

- ・ 開始～15分頃
 - ・ 備品かき集める。↑受付も何もせず。
- ・ 15分～30分頃
 - ・ 本部の中心者が不明。役員が少なく、聞き入れられない。
 - ・ ベッド作りだす。
 - ・ 13:25 1名手伝。13:30 手伝4名増員。
 - ・ 飲料ぐらいは、最初からほしい。⇒13:40配られる。
- ・ 30分～45分頃
 - ・ 段ボールベッドがなかなかつくれない。⇒13:45座つたが、弱く感じる。
 - ・ 運営本部と本部の机がない。本部の職員がいない。

- ・ 市職員がいないので、自治会職員に運営本部の不満がぶつけられない。
- ・ 赤ちゃんを抱く人にあまり強く声をかけられなかった。

- ・ 45 分～60 分頃
 - ・ 補充された α 米中 2 袋確保。
 - ・ 13:45 仕切り作成。手伝いいただく。
 - ・ 14:00 水全部 keep

- ・ 60 分～1 時間 15 分頃
 - ・ 役割以外のことで動く。ベットや囲いの作り方が分からない。
 - ・ 演技以外のことはそのまましやべって動いた。
 - ・ 教頭先生他 1 名、ベッド探しに来る。→使用中ですと言い切ったら ok となる。

- ・ 1 時間 15 分～1 時間 30 分頃
 - ・ 吐き気を訴える→会議室に行く。
 - 病人ばかりいて、看護師がいない。
 - 隔離されてもさびしくなる。本部へ応援依頼。
 - 時々、看護師と本部から人が来る。
 - ・ アルファ米 New の箱× 1 keep
 - ・ (校長先生)ミネラルウォーターの空箱だけもって行く。教頭先生ミネラル取りにくる。
 - ・ 個人的に確保しているというと→持って帰らず。(ok になる)

- ・ 1 時間 30 分～
 - ・ 糖尿病の方へ「アメ」× 1 渡す。
 - ・ スマホ電源依頼→みなし電源あり。
 - ・ リーダーとその周辺の人との隔離が見られる。
 - ・ 徐々にまとまっているようで、みんな落ち着かないでいるようだ。

その他

- 開始～15分頃
 - ・ 1回目 案内 場所がわからず不安。人が増えてきた。赤ちゃんが泣いている。
 - ・ 係の人が声をあげている。
 - ・ 別室に移動できるか分からず、廊下で待つことに……。
 - ・ 指示がないまま、時間だけが過ぎる。
 - ・ 避難所に人が増えてきたので、中に入ることがためらわれる。
- 15分～30分頃
 - ・ 知っている人がほとんどいなく心配。大人が大勢で緊迫した中、子供だけではとても不安。こわい!!
 - ・ 知っている人がそばにいれば安心。
 - ・ 何をしてよいか不明。リーダーが指令を出してほしい。
 - ・ 2回目 案内 どの部屋かわからない。(コロナ等)表示等もないので入れず。消毒の有無を聞いた。
 - ・ 両親がいつ来るか心配になる。
 - ・ 3回目 部屋の案内有り。濃厚接触 部屋内でどこにいたらいいのか… …。部屋に頭痛の方が来たので、声をかけたら濃厚接触ではない……
 - ・ 部屋内でどう分かれて過ごしたらいいかな？
 - ・ 部屋内で別々に離れて過ごすように指示があり、待機。(手書きの図)
 - ・ 家族と合流後、元の部屋へ。別の方とどう過ごすか尋ねた。
→パーテーションつくるまで一角にいてほしいとのこと。
→窓際で換気して待つ。寒い。
→トイレどうする？簡易トイレを頂いたが、仕切りがほしい。臭い音が気になる。
→トイレットペーパー、手を洗ったり拭くもの、消毒が欲しい。
 - ・ 何をするにも濃厚接触で移動を待機。
 - ・ ●●のくり返しでストレスがたまってしまう。
 - ・ 誰に質問をすればいいのかわからない。目印があると助かる。
 - ・ 家族と連絡が取れていないが、スマホが充電不足に。不安。
 - ・ 別室に一緒に案内された。一安心。
- 30分～45分頃
 - ・ 足が悪いとのことで福祉施設を探していると言われたが、回答がない。ダンボールベッドを組み立てている。手伝わなくていいのだろうか。

→ダンボールベッドじゃなく間仕切りだったが、ぜんぜん組み立てられない様子。

- ・ 体調の悪い人を医務室を設け、移動してもらったが、医療関係者が、分散してしまい、見つけにくかった。医師、薬の確保が困難。
 - ・ 対策本部への連絡や、校長だけと後で知ったが、それまでは電話連絡をしたふりを行う。
 - ・ 授乳室の設置と共に、女性専門の室として会議室 1 を設置。少し落ち着いてきた。
 - ・ 何か簡単なお手伝いをする。段ボールベッド、アルファ化米 取りに行く作業をしていると不安が少しやわらいだ。
 - ・ 場所は決まったが、水分補給もこない。外部の様子がわからず不安がある。トイレ、食事等、聞いても、なしのつぶて。
-
- 45 分～60 分頃
 - ・ 医務室内で、コロナ濃厚接触者が発生。対応役割を決めるのが困難。
 - ・ 約一時間経つが、避難所の見取図(トイレの場所がわからない)。

 - 60 分～1 時間 15 分頃
 - ・ 乳児のいる部屋に移動。一緒に遊べて落ち着く。赤ちゃんのいる会議室に子供達は移動させてもらえたので、体育館の慌ただしい中より安心できた。
 - ・ 手持ちのドリルなど勉強している間は少し集中できた。
 - ・ 乳児室で、離れた部屋に入れられて、不安になる。
 - ・ いつまでたっても命令系統が作られていない。なんとなく責任者になりたくない空気。自治会長、市会議員、校長先生と頼りになりそうな人に声をかけるが、解決されない。
 - ・ 看護師なので、まわりの人の事も気になり、動き始めるが、自分の子も見ないといけないので板挟み。どんどん動きたいが、我が子の事もあり身動きがとりにくいジレンマ。でも、一回、話しを聞いてしまうと何度もきかれるので動かざるをえない。
 - ・ 絶対に知らない人では成り立たない。
 - ・ 段ボールベッドのパーテーションが組立づらい。古い。
 - ・ 運営の役割分担ができなかった。
 - ・ ランドセルに入っていた漢字ドリルで時間をつぶす。
 - ・ 海外の言葉が分かる人? が、違う国同士の人たちを集めてさみしくないようになっていた。

- ・ 食料の扱いについてなど、自治会役員を集合されると余っているメンバーは何もできない。広く全体にできる内容を明示して集合させてほしい。
 - ・ ダンボールと簡易トイレが届くが、不足品が多い。
-
- ・ 1時間15分～1時間30分頃
 - ・ 津波の警告があったが誘導者がいないので車イスの方など避難ができない。津波といっているのに、ご飯が45分後になると表示。
 - ・ ブロックの役割分担を頼まれたが、内容が良く分からなかった。
 - ・ 携帯電話の電池がなくなりそうで、充電器がないので不安である。後で発電機の場所が分かった。
 - ・ 大人達のやり取りを聞いていたら怖くなってくる。津波がくる可能性ありとのこと。避難所運営の方針どうこうよりまず逃げたいと思う。
 - ・ 周りの人が時々話しかけてくれたので助かった。
 - ・ 自治会集合のところのみで話し合いがあるようで、何も手伝えない。グループ分けすべき！
 - ・ 余震で、別室が使えず、廊下で待機。疲れた。
-
- ・ 1時間30分～
 - ・ 発電機を使って携帯を充電出来て、会えた家族に連絡出来て安心。充電器も持っていて良かった。
 - ・ トイレ等の●●ほしい。要支援者の居場所●●。
 - ・ 余震により本部へ移動したが、暗いし親もまだ来ず不安。
 - ・ 各グループ代表の集合をいわれるが、誰か班がいくつか把握されていない。何の集合か不明。
 - ・ 余震で危険とのことで会議室から避難所に移ったが、「○○ちゃんは会議室にいます」の張り紙をはがすのを忘れていてスタッフが困っていた。
 - ・ お酒について何も注意されないのは不思議。

②全体を通して

運営管理者

- ・ 本部の設置必要。組織図を用意しておくべき。
- ・ 人数把握を見るようにすべき。
- ・ 備品リストが必要。メガホン必要。
- ・ 指導者は実作業をしないので他の人に振る。
- ・ 名簿作成をきちんとすべきであった。
- ・ リーダーを誰にさせるかの社会的合意が必要。社会的立場、年齢で決めてはならない。
- ・ 本部がどこか、総括が誰かわからない。指示がバラバラ、人によって違う。
- ・ 情報共有できず、誰に報告していいのかわからない。
- ・ とりあえず校長、教頭、市議会議員に相談、報告。
- ・ 自治会長、頼りにならない……。
- ・ 家に帰れない(15分帰宅)
- ・ 頼まれごとが多くて、待たせてしまう。
- ・ 外国人の方の対応が難しい。ほったらかしになる。
→基本的な表がほしい。見せたら通じるやつ。
- ・ 受付、事務局となる方々がしっかり動いてくださり、初めてにしては運営大成功。皆さん役者上手。

運営協力者

なし

要配慮者

- ・ どうしたらしいのでしょうか。
- ・ バスはこない。主人とは連絡とれない。家はどうなっているの？
- ・ よその赤ちゃんも預かり、一人で別室にいます。(ママが看護婦さんで呼ばれていってしまった。)
- ・ スマホが充電できない。主人と連絡できない。不安しかない。
- ・ 自治会の方が、水とミルクを持ってきてくださったが、去って行く。一人でどうしたらいいの……。
- ・ 充電でききるようになったと言うが、二人の子を置いて充電しに行けない。
- ・ バスはまだ動かないよう。不安……。
- ・ 時々、自治会の人々が来てくれる。子供たちを呼んでもらう。

- ・人がいることだけで安心。でも、先の事が何もわからず、何も見えなくて不安……。
- ・外国人の来たのですこしにぎやかになりました。
- ・うんちをして、衣類を汚してしまいました。どうしよう着替えがない。
↑あなた元気でしょう あなた外国人なら外国人の事は担当ね動けるのなら自分で書いてと言われショックを受けた。
- 言葉の通じない人の部屋に入ったまま、他の部屋の人が何をしているのか全くわからない。隔離されたように感じる。孤独!!
- ・設定は各人で個別だが大筋についての段取り、企画がグダグダ。
- ・津波の情報？何ひとつ知らされなかつた。——実際の時なら怖いこと。
- ・自分の行動が選べない。
- ・急患対応が決められているが遅い。
- ・本部の指示が何をしようとしているか不明・誰に向ってしゃべっているか不明。リーダーが動いてはだめだ。
- ・各担当決めが遅く、だらだら感があった。

非協力者

- ・最後まで保管備品について逃げ切りました！！

その他

- ・事前防災←地区防災計画のシステムがゼッタイ必要！役割分担が必要。
- ・事前・事後のタイムラインを作成する。
- ・忙しかったです。でも、なにもできていないです。
- ・在人数(名簿)が明確にならなかつた(初期)
- ・避難所への問合わせを数回依頼するも回答なし(役割対応)
- ・スマホへの充電器の設置はあるも、台数は足りる？
- ・段ボールベッドは旧式で強度不足。(組立て易い最新のものにすべき)
- ・避難所であれば、拡声器を備えているべき。(指示等よく聞こえない)
- ・全体的に、責任者の自治会長が本部に不在。
- ・段ボールベッドなど作り方がわからない。
- ・班がつくりにくい。
- ・個人ではなくスピーカーなどで指示を全体に明示してほしい。

(白紙・左ページ)

(裏表紙)

2021 年度 Shinjo プロジェクト市民防災・減災活動公募助成事業
[リアル体験版] 避難所運営訓練実施報告書

実施：兵庫県・（一財）ダイバーシティ研究所

報告書作成

（一財）ダイバーシティ研究所

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-8-33 日宝新大阪第 2 ビル 802

TEL : 06-6152-5175 E-mail : office@diversityjapan.jp

